NEOJAPAN

AppSuite

かんたん操作マニュアル

アプリケーション作成

desknet's NEO V9.7対応版



© NEOJAPAN Inc.

Index

【アプリケーションの作成マニュアル】

AppSuiteとは

AppSuiteの構成

1. アプリケーションを作成しよう
2. アプリケーションの作成　-はじめから作成
3. 画面構成　-全体
4. 画面構成　-左：部品の追加パネル①～⑥
5. 画面構成　-右：部品の設定パネル
6. 画面構成　-中央：画面デザインエリア
7. 部品を追加する　-基本操作
8. 部品を追加する　-自動採番設定
9. 部品を追加する　-自動計算部品①②
10. 部品を追加する　-応用編①②③
11. リレーション設定①②③④⑤
12. リレーション設定の絞り込み条件
13. 部品を追加する　-参照データ一覧部品①②③
14. プラグイン部品について
15. プラグイン部品を追加する
（リアクション/コメント/手書き/PDFビューア/ヘルプボタン/予定取得ボタン/QRコード）
16. プラグイン部品の制限事項
17. 申請書アプリケーション①②③
18. アプリケーションの作成　-アプリケーションを複写して作成
19. アプリケーションの作成　-テンプレートから作成
20. アプリケーションの作成　–Excel/CSVファイルからインポート①②③

お問い合わせ先



NEOJAPAN

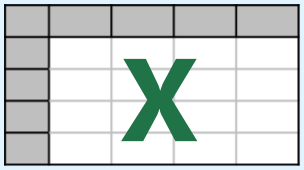
© NEOJAPAN Inc.

AppSuiteとは・・・

紙・Excelで行われている様々な業務処理を誰でも簡単にWebシステム化できるツールです。
AppSuite上にアプリとして作成し、Web上でご利用いただくことができます。



紙ベースの業務処理



Excelベースの管理台帳



豊富なテンプレート

ご利用中のdesknet's NEO



活用



共有



集計結果やグラフをポータルで共有

**画面に部品を並べるだけで、
オリジナルのアプリケーションが完成。
紙の申請やExcel台帳をWeb化することで
様々な業務の効率を上げられます。**

© NEOJAPAN Inc.

AppSuiteの構成

AppSuite はdesknet's NEOの
有償機能の1つです。



desknet's NEOからAppSuiteにアクセスし、
ユーザーが作成した業務ツール(アプリ)を
利用します。

使い方その1

**FAQアプリで業務に関する
よくある質問をデータ登録、
他のユーザーに共有！
FAQアプリを見て社内の
問合せ率の軽減をします！**

使い方その2

**出張申請アプリで
ワークフローと連携！
申請データはアプリからも
ワークフローからも
確認できます！**

使い方その3

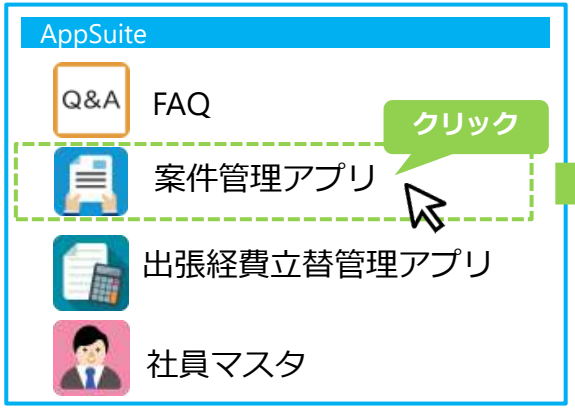
**紙の申請書をアプリで見た目
そっくりに作成！
AppSuiteのワークフロー連携で、
申請と同時に
データ管理できます！**

アプリの中には大きく分けて以下
の3つの画面があります。

詳細画面のデザイン・レイアウトを
お客様ご自身で自由に作成することができます。

AppSuite

アプリケーションの一覧画面

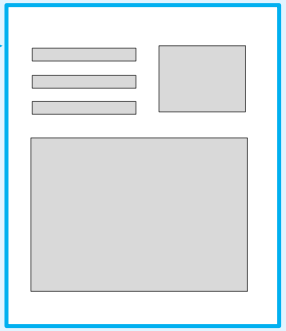


案件管理アプリ

①データの一覧画面

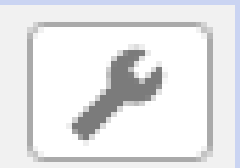


**②データの詳細画面
(データの登録画面)**



**③アプリの編集画面
※編集権限が必要**

アクセス権や自動処理など
アプリの運用に関する設定



© NEOJAPAN Inc.

01 アプリケーションを作成しよう

AppSuite画面を開き、左上の
[アプリケーションの作成]ボタンから作成します。

※作成は、管理者または、管理者から作成権限を
許可された対象者のみです。

アプリケーションの作成メニューは4種類用意しています。
用途に合った作成メニューを選択してください。



■はじめから作成
手動にて一から自由に作成できます。

▼を押下すると、
「通常アプリケーション」作成か、
「申請書アプリケーション」作成かを選択できます。

※申請書アプリケーションは、ワークフロー機能と
連携するためのアプリで、申請書の書式をアプリ
ケーションで作成します。

■アプリケーションを複写して作成
AppSuite上に既に作成されているアプリケーション
を複写して新規に作成します。

■テンプレートから作成
テンプレートからアプリケーションを新規に作成し
ます。

■Excel/CSVファイルからインポート
別システムからの出力など、お持ちのCSVファイル
からアプリケーションを新規に作成します。

インターネット環境に接続可能であれば弊社でご用意しているテンプレートを
使用してアプリケーションを作成できます。※一部有償です。

注意事項

申請書アプリケーションの作成には、システム管理者、またはワークフローの
・「すべての申請」の機能管理者
・申請書・経路管理者
いずれかの権限が必要です。

※計算式や、別アプリとのリレーション等はこちらからは作成できません。
インポート後にアプリケーションの編集で設定していただく必要があります。

© NEOJAPAN Inc.

02 アプリケーションの作成　-はじめから作成

アプリケーションをはじめから自由に作成・設定することができます。

※「申請書アプリケーション」の作成方法も同様となります。

[はじめから作成]> [通常のアプリケーション]を選択すると、アプリケーションの概要情報を設定する画面が表示されます。

①アプリケーション名
作成するアプリケーション名を入力します。

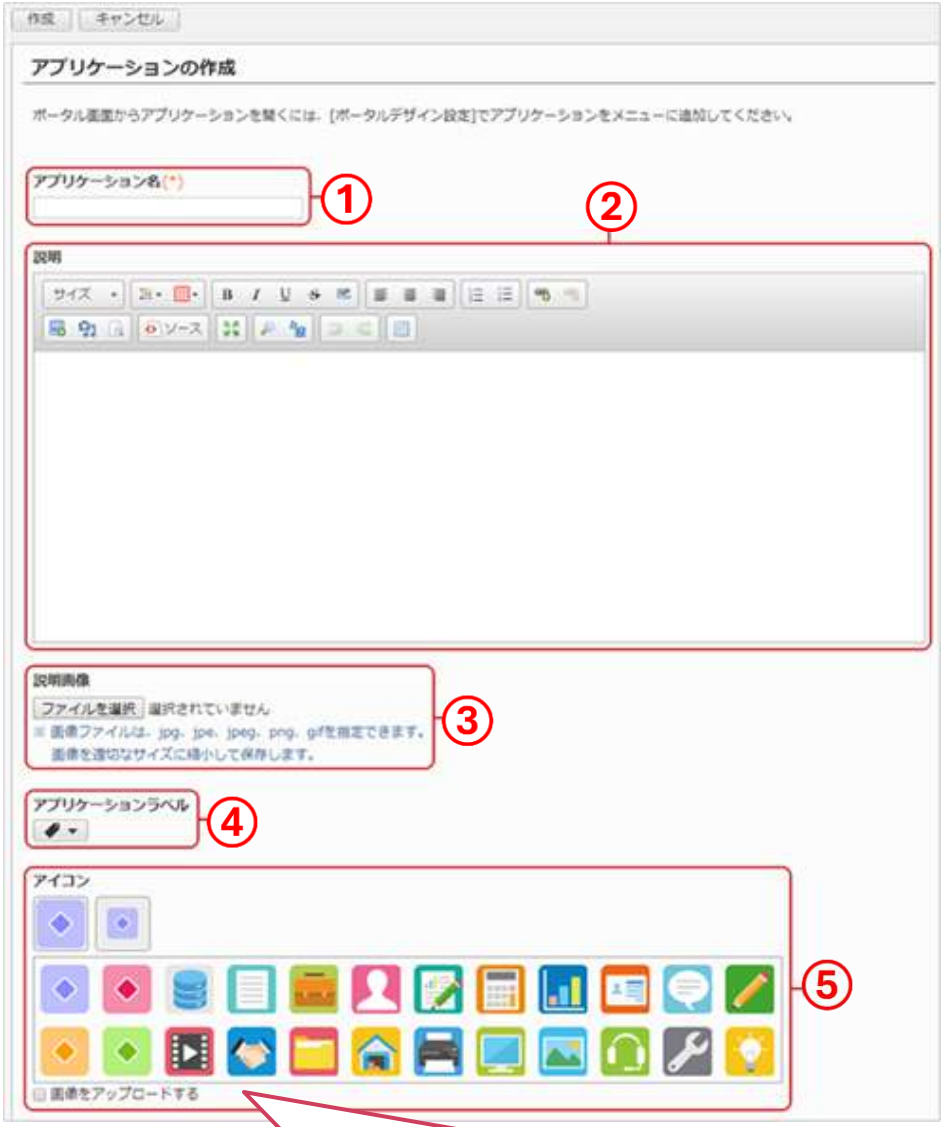
②説明
アプリケーションの説明を入力します。
リッチテキスト形式で入力できます。

アプリケーション一覧画面に表示されます。

③説明画像
アプリケーションの説明に画像を設定します。
※画像は幅735×高さ735ピクセルまで表示。

④アプリケーションラベル
登録されているアプリケーションのラベルを設定します。

⑤アイコン
メニューアイコン等で使用するアイコンを設定します。



[□**画像をアップロードする**]にチェックを入れると
任意の画像をアイコンに設定できます。

© NEOJAPAN Inc.

03 画面構成　-全体



■画面左：部品の追加パネル
アプリケーションに使用したい部品をドラッグ＆ドロップで中央のデザインエリアに配置して作成します。

■中央：画面デザインエリア
配置した部品の幅の調整や、重なりなど設定します。

■画面右：部品の設定パネル
配置した部品の設定パネルとなり、タイトルやサイズ、色付けなど設定できます。

© NEOJAPAN Inc.

04 画面構成　-部品の追加パネル①

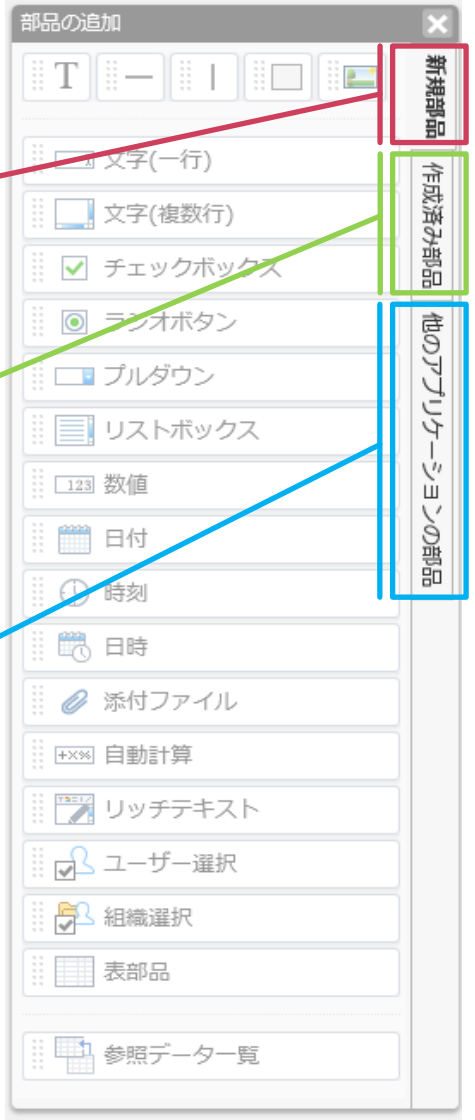
部品の追加パネル右側のタブから表示する部品を切り替えられます。

新規部品
画面に配置する新規部品の一覧が表示されます。
※詳細は次ページを参照ください。

作成済み部品
既に作成した部品の一覧が表示されます。

※歯車アイコンの付いた部品は、アプリケーションを作成すると、自動作成されるシステム部品となります。

他のアプリケーションの部品
関連付けを設定した他のアプリケーションで作成された部品の一覧が表示されます。
また、部品とアプリケーションとの関係（リレーションの登録）を追加できます。



© NEOJAPAN Inc.

04 画面構成　-部品の追加パネル②

データを登録するときに使用する部品

«テキスト入力項目»

⑥文字（一行）
一行で終わる短文を入力させる部品です。
※文字（一行）は自動採番機能としても利用可能です。

⑦文字（複数行）
備考欄など、長文を入力させる部品です。

⑧リッチテキスト
利用者にリッチテキスト形式(※)で文字入力させる部品です。
※文字のサイズ変更や色の変更、ハイパーリンクなどを行える入力形式です。

«選択項目①»

⑨チェックボックス（選択肢から複数選択可能）
⑩ラジオボタン（選択肢から1つだけ選択可能）
⑪プルダウン（選択肢から1つだけ選択可能）
⑫リストボックス（選択肢から複数選択可能）



画面上に表示する為の部品

①テキスト
画面上にテキストを表示させます。

②横線、③縦線
画面上に線を引きます。

④四角形
背景や枠線として使用します。

⑤画像
画面上に画像を配置します。

«日付入力項目»

⑬日付
日付入力させる部品です。
（例：2022/12/15）

⑭時刻
時刻入力させる部品です。
（例：13:00）

⑮日時
日時入力ができる部品です。
（例：2022/12/15 13:00）

© NEOJAPAN Inc.

04 画面構成　-部品の追加パネル③

データを登録するときに使用する部品

«その他»

①数値

数字の入力部品です。（金額入力など）

②添付ファイル

データ登録時にファイルを添付させる部品です。

③自動計算

四則演算や関数と配置済の部品を使用して自動計算を作成できる部品です。

«選択項目②»

④ユーザー選択

desknet's NEOに登録されたユーザーを選択できます。

⑤組織選択

desknet's NEOに登録された組織を選択できます。

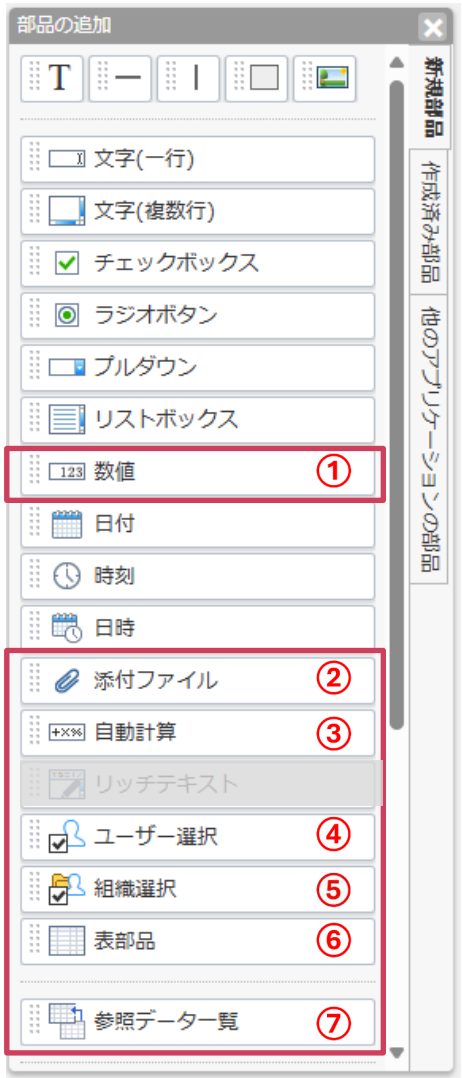
«表形式»

⑥表部品

表を配置することができます。
配置後に表示させる項目を設定します。

⑦参照データー覧

AppSuite上のアプリケーションから条件に一致したデーター覧を取得表示します。



© NEOJAPAN Inc.

04 画面構成　-部品の追加パネル④

申請書アプリケーションで使用できる部品

・**印影(ワークフロー)部品**
承認印の印影が表示されます。
※申請書アプリケーションの場合のみ利用できます。

プラグイン部品

・**リアクションボタン（プラグイン部品）**
データの参照画面上で、「いいね」などのリアクションを残せます。

・**コメント（プラグイン部品）**
データの参照画面上で、データに対してコメントの追加・削除が行えます。

・**手書き（プラグイン部品）**
データの追加・編集画面上で、図やメモなどの手書き入力が行えます。

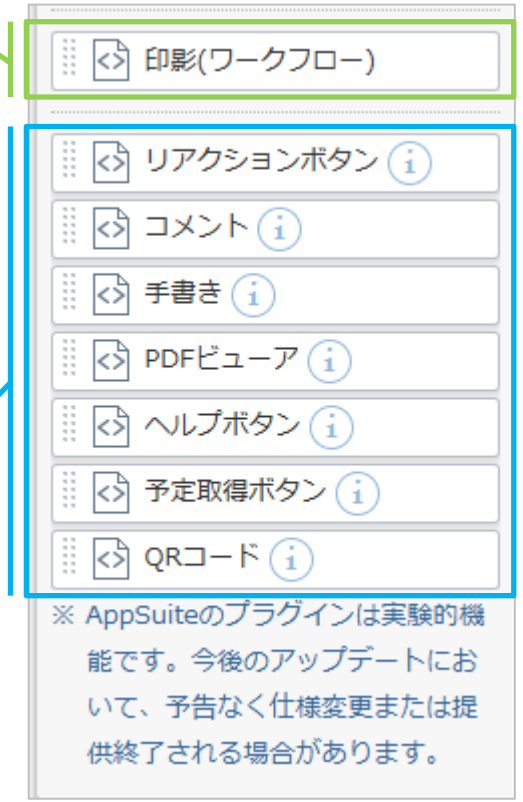
・**PDFビューア（プラグイン部品）**
ブラウザ画面上でPDFの内容を表示する事ができます。

・**ヘルプボタン（プラグイン部品）**
入力・編集画面内から、任意のメッセージ・画像を吹き出しで表示できます。

・**予定取得ボタン（プラグイン部品）**
ボタン押下で指定した日付のスケジュールを表部品に一括挿入できます。

・**QRコード**
文字（一行）、文字（複数行）、自動計算をQRコードに変換します。

※プラグインを使用するには、V7.1以上をご利用で、管理者側にてプラグインをインストールしている必要があります。



各部品の詳細はマニュアル後半の「プラグイン部品を追加する」をご確認下さい。

© NEOJAPAN Inc.

04 画面構成　-部品の追加パネル⑤

■作成済み部品

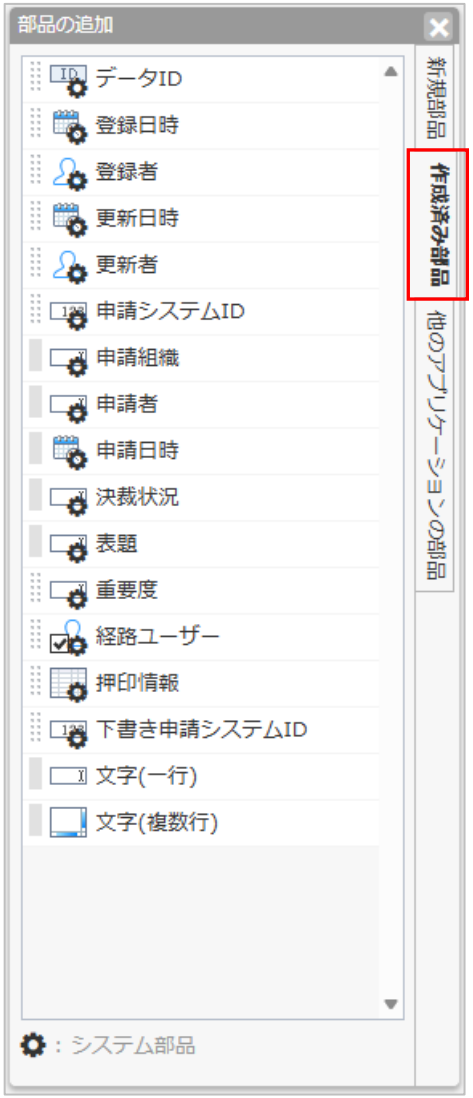
作成した部品の一覧が表示されます。

※歯車アイコンの付いた部品は、アプリケーションを作成すると、
自動作成されるシステム部品となります。

「申請書アプリケーション」を作成する場合、以下のシステム部品が追加されます。



- **申請システムID**
  申請作成時に申請データに自動発番されるシステムIDとなります。
- **申請組織/申請者/申請日時**
  申請を作成したユーザーの所属組織、ユーザー名、作成日時となります。
- **決裁状況**
  決裁者による決裁状況が表示されます。
- **表題/重要度**
  申請の表題や重要度が表示されます。
- **経路ユーザー**
  申請経路のユーザーが表示されます。
- **押印情報**
  押印状況の一覧が表示されます。
- **下書き申請システムID**
  申請を下書き保存した際に自動発番されるデータのシステムIDとなります。



© NEOJAPAN Inc.

04 画面構成　-部品の追加パネル⑥

■他のアプリケーションの部品

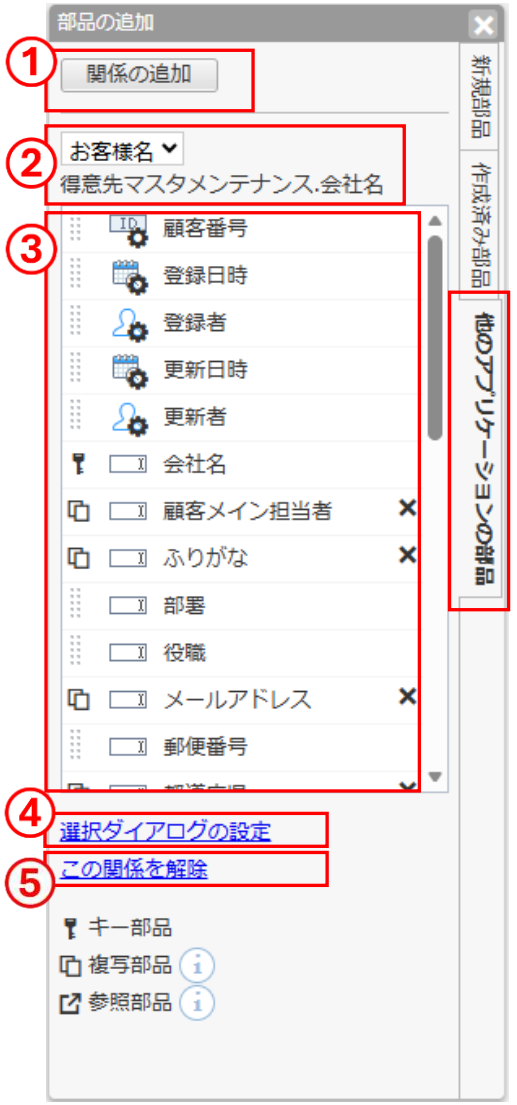
紐づけられたアプリケーションの部品一覧が表示されます。

①他のアプリとの連携を新規追加します。（リレーション設定）
※リレーション設定方法については、本マニュアル後半「リレーション設定」をご確認ください。

②連携済みのキー部品を選択できます。
複数の連携設定を行っている場合、②のプルダウンから表示する連携設定を切り替えることができます。
キー部品を選択するとプルダウンの下に連携しているアプリ名とキー部品名が表示されます。

③②で選択した連携先のアプリの詳細画面に登録されている項目の一覧が表示されます。

④再度、連携設定を編集することができます。
⑤連携を解除します。



ポイント

キー部品、複写部品、参照部品などは部品アイコンの左に専用アイコンが表示されます。

歯車アイコンの付いた部品は、アプリケーションを作成すると、自動作成されるシステム部品となります。

© NEOJAPAN Inc.

05 画面構成　-部品の設定パネル

※使用する部品によって表示される内容は変わります。

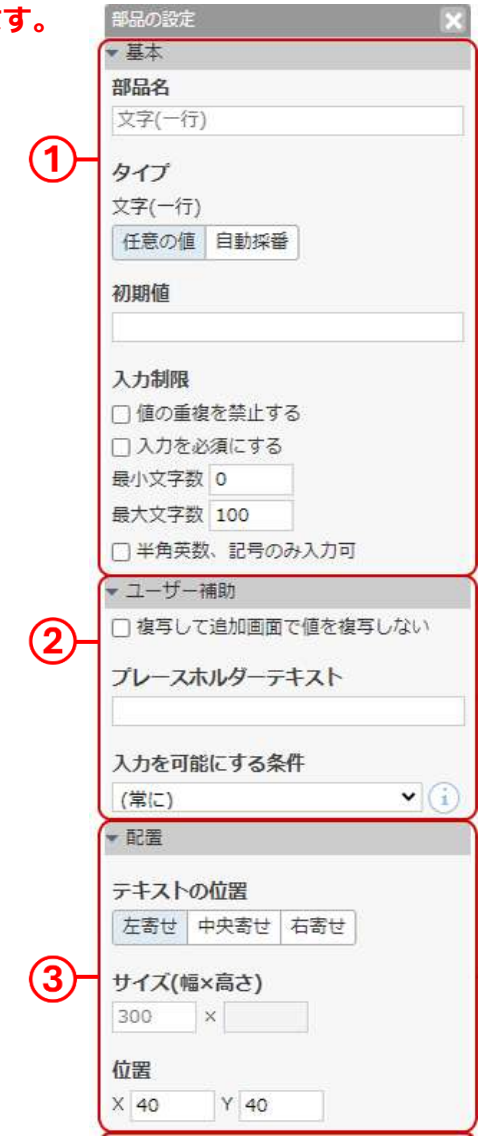
①基本
選択した部品の基本情報を設定します。
部品のタイトルなどを入力します。

入力制限として「必須」「重複禁止」「文字数」など設定できます。

②ユーザー補助
ユーザーへの補助設定を設定します。

- データを「複写して追加」する際に元データの値を複写するかどうかを設定します。
- プレースホルダーテキストとは…
  データが入力されるまでの間、入力欄内に表示される説明文です。
- 「入力を可能とする条件」は、判定条件にて設定した条件を選択できます。
  ※ 判定条件については別紙「アプリケーション編集」のマニュアルをご確認ください。

③配置
部品のサイズや、配置に関する設定を設定します。幅、高さ、位置など。





④タイトル
部品のタイトルに関する設定を設定します。

⑤スタイル
値の書式に関する設定をします。
枠線、フォントサイズや、色付けなど。

⑥複写の設定
AppSuite上の他のアプリケーションからデータを複写するための設定が表示されます。

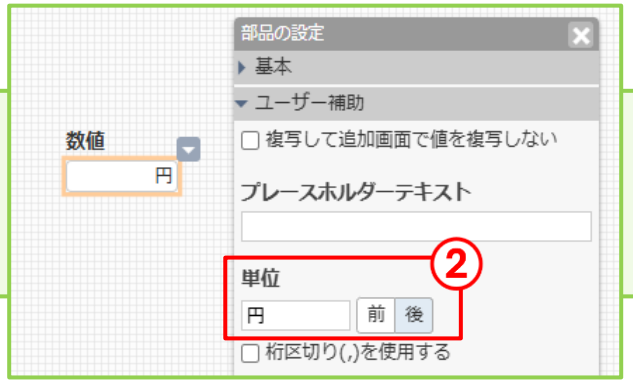
© NEOJAPAN Inc.

05 部品の設定パネル：補足

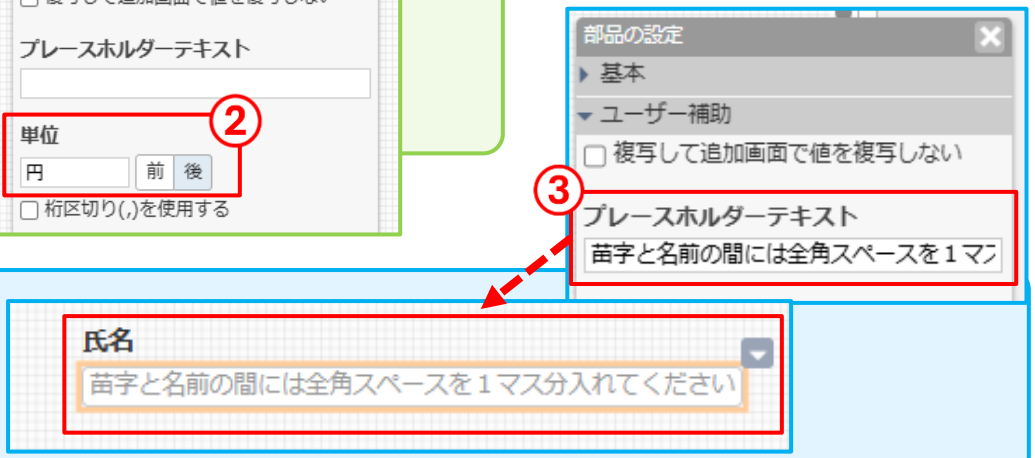
①選択肢：「その他」の設定
「選択肢にない値の入力を許可する」にチェックを入れると、「その他」の項目として自由入力形式の項目を設定できます。
使用できる部品：**チェックボックス、ラジオボタン**



②単位の指定
単位を入力すると自動で項目に表示されます。
使用できる部品：**数値部品**



③プレースホルダーテキスト
データが入力されるまでの間、入力欄内に表示される説明文です。
使用できる部品：**文字（一行）、文字（複数行）、数値など**



部品タイプ別の入力サイズ制限について
▼オンラインマニュアル
https://www.desknets.com/neo/help_apps/ja_JP/appendix/parts_spec/002.html

© NEOJAPAN Inc.

06 画面構成　-画面デザインエリア

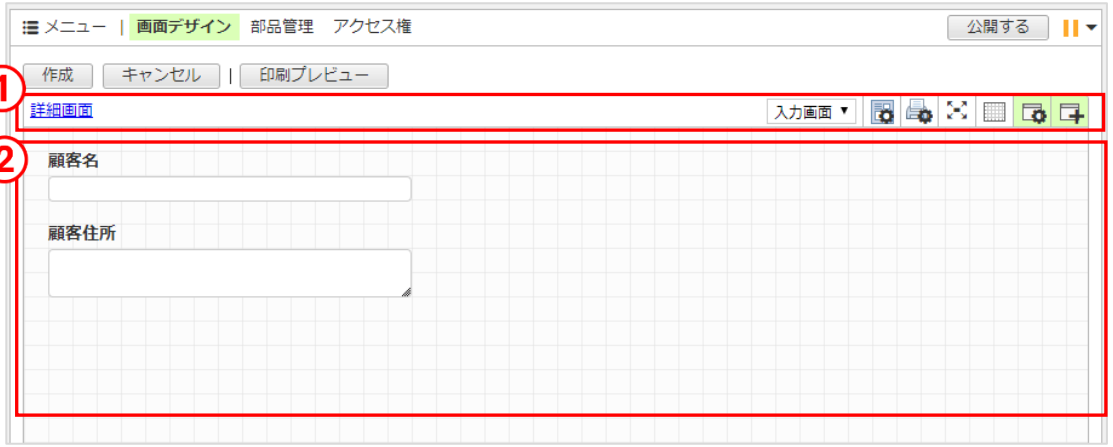
①画面デザインツールバー
画面の設定（サイズ変更など）、全画面表示、グリッド変更が表示されます。

“詳細画面”をクリックすると画面名称を変更します。
その名称でユーザーに公開されます。

※ツールバーの詳細は、本誌「10．部品を追加する（応用編）」をご参照ください。

②画面デザインエリア
選択した部品の配置場所の変更や幅などの調整がマウス操作で行えます。

※画面デザインエリアで行えるのは、配置や幅の変更のみとなり、タイトルの変更等は各部品の画面右側の「部品の設定パネル」で行ってください。

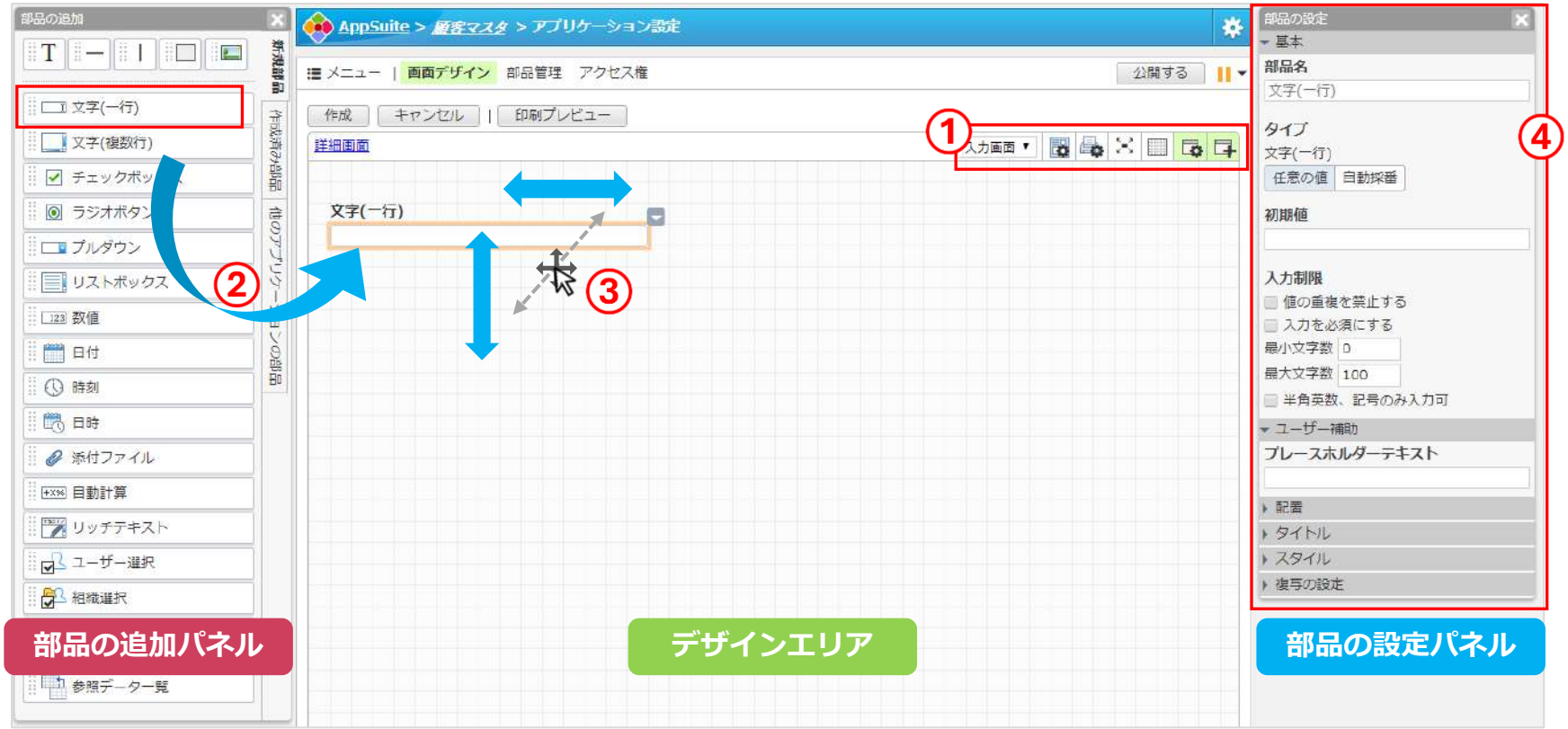


ポイント
部品を選択して、重なり順の変更を行うと、部品を前面や背景に重ねて作成できます。



© NEOJAPAN Inc.

07 部品を追加する -基本操作



①画面の表示切替、背景色、印刷時の設定、グリッドの間隔、パネルの表示/非表示を変更できます。

②左の「部品の追加パネル」から使用したい部品を選択し、ドラッグ＆ドロップで、中央の画面デザインエリアに配置します。

③選択した部品は、画面デザインエリア上で、マウス操作で移動や幅調整などが行えます。

④ 選択した部品の設定が行えます。
部品タイトル、配置やスタイルなど

注意事項

・作成した部品自体の削除は、「部品管理」から削除してください。
詳細は、別紙応用マニュアルの「部品管理」をご参照ください。

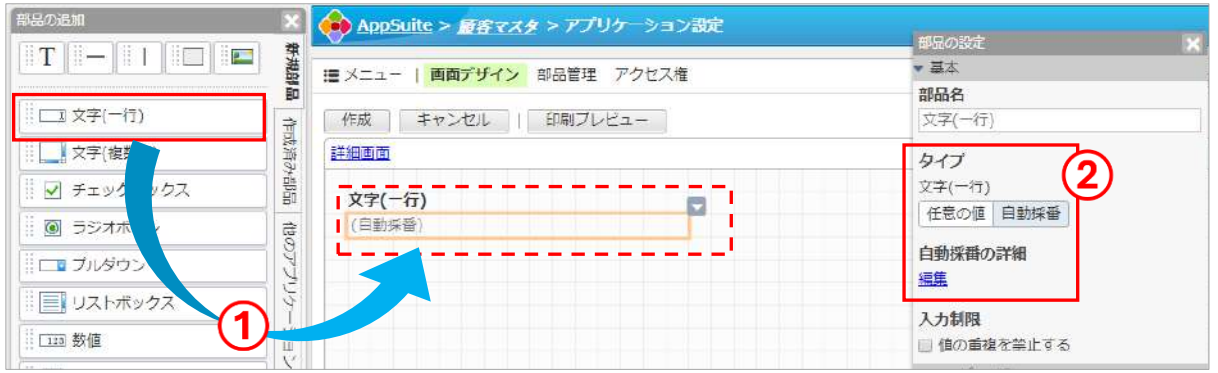
・1つのアプリに作成できる部品には上限があります。
[詳細] https://faq.desknets.com/neo/faq/NEO-A0012

© NEOJAPAN Inc.

08 部品を追加する　-自動採番設定

「文字(一行)」部品を使って登録データに対し自動採番を行うことができます。

※自動採番の設定を有効に出来るのは、１つのアプリケーションにつき１部品です。

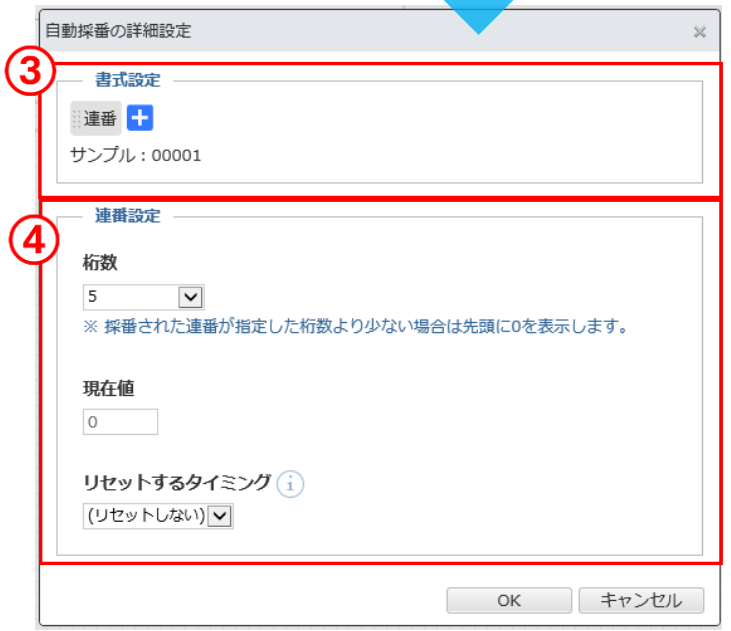


①「部品の追加」パネルから「文字(一行)」部品をデザインエリアに配置します。

②部品を配置後、「部品の設定パネル」の「タイプ」から「自動採番」を選択します。

選択すると、「自動採番の詳細」の「編集」のリンクが表示されます。リンクをクリックすると桁数など書式の設定が行えます。

詳細



③書式設定

[+]ボタンを押下すると、連番に日付や任意の文字列を追加できます。
ドラッグ＆ドロップで順番入れ替えができます。

④連番設定

桁数：
連番の桁数を設定します。最大9桁。

現在値：
現在発番した値が表示されます。
任意の数値を入れると、その値からカウントアップします。

リセットするタイミング：
発番した連番をリセットするタイミングを設定します。

© NEOJAPAN Inc.

09 部品を追加する -自動計算部品①

自動計算部品を使用して、様々な計算や関数を使用することができます。

①「自動計算」部品を配置します。

②部品を配置後、部品の設定パネルの「計算式」の”編集”より、計算式を設定します。

③自動計算で使用可能な部品の一覧
使用する部品をクリックします。

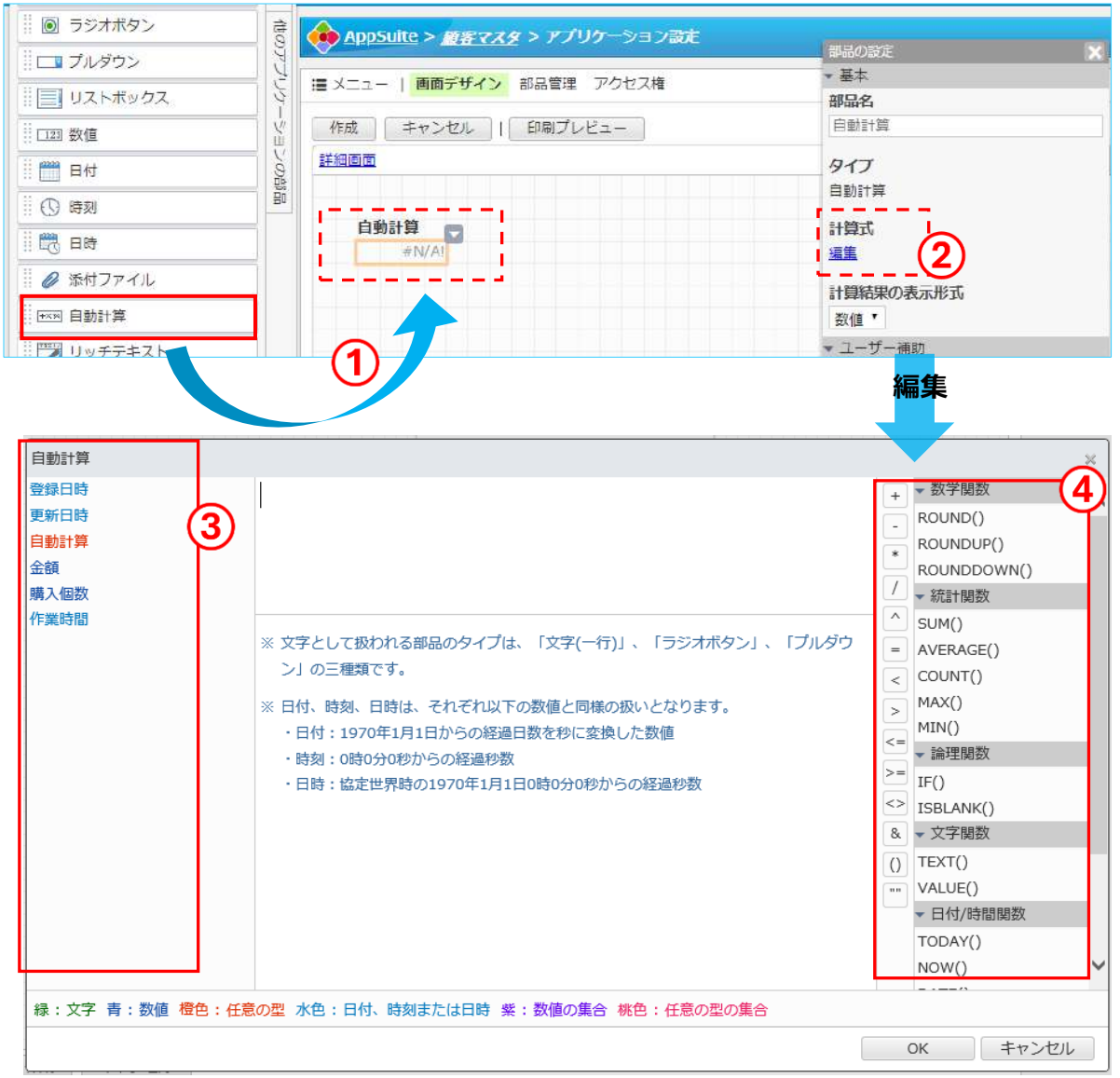
④AppSuiteで提供している関数の一覧
使用する関数をクリックします。

計算で使用する部品と関数をクリックして、
計算式を作成します。

※各関数にマウスを合わせると、使い方などの
説明が表示されます。

※関数の使用例を下記で紹介しています。
【みなとデスクネッツ：簡単関数シリーズ】
https://www.desknets.com/neo/users/media/tag/function/

※制限事項：自動計算
https://www.desknets.com/neo/requirement/limit_appsuite.html#calc



© NEOJAPAN Inc.

09 部品を追加する -自動計算部品②

自動計算部品を使用した事例をご紹介します。

＜年齢などの経過年数の計算＞

使用例）年齢、入社年数、入院年数、購入後の経過年数

1. 「日付部品」を使用し、アプリ内に生年月日を入力する部品を追加。
2. 「自動計算部品」を使用し、年齢計算を行う部品を追加。
3. 追加した「自動計算部品」の計算式の編集で以下計算式を指定する。

作成例）

```
YEAR(TODAY())-YEAR({{生年月日}})+IF(TODAY()<DATE(YEAR(TODAY()),MONTH({{生年月日}}),DAY({{生年月日}})),-1,0)
```

4. 追加した自動計算部品（年齢）の「計算結果の表示形式」を”数値”を選択します。

＜残日数の計算＞

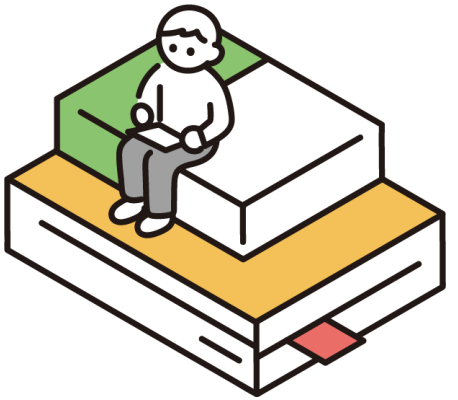
使用例）予定日（期限日）までの残り日数を求める

1. 「日付部品」を使用し、アプリ内に予定日を入力する部品を追加。
2. 「自動計算部品」を使用し、残日数計算を行う部品を追加。
3. 追加した「自動計算部品」の計算式の編集で以下計算式を指定する。

作成例）

```
({{予定日}}-TODAY())/24/60/60
```

4. 追加した自動計算部品（残日数）の「計算結果の表示形式」を”数値”を選択します。



© NEOJAPAN Inc.

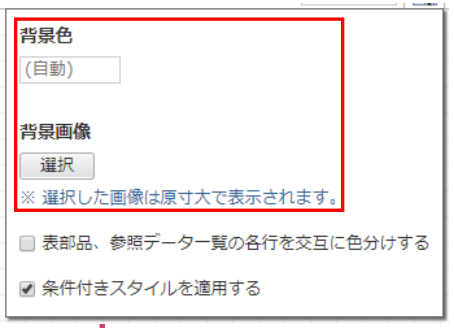
10 部品を追加する　-応用編①

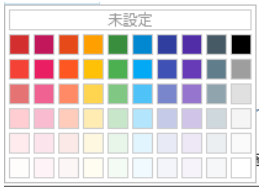
背景色や背景画像を設定する。

データ詳細画面の背景色や、背景画像を任意に変更できます。

※背景画像に設定できるのはGIF、JPEG、PNG形式のみです。







ポイント

紙で運用していた申請書・見積書等のテンプレートをAppSuiteでも運用する方法

1. 紙のテンプレートをスキャンし、画像化します。
2. デザインエリアの[背景画像]より1の画像を取り込みます。
3. 取り込んだ画像のレイアウトに合わせて各部品を配置することで、従来のフォーマットのまま、AppSuiteで引き続きご活用いただくことができます。

注意：背景画像は原寸大で表示されるため、画像サイズによって表示が異なります。

画像のサイズを細かく調整したい場合は、画像部品で1の画像データを取り込み、最背面に配置し、背景画像として運用する方法もオススメです！

画面のサイズを設定する。

データ詳細画面のサイズを任意の用紙サイズに変更します。







© NEOJAPAN Inc.

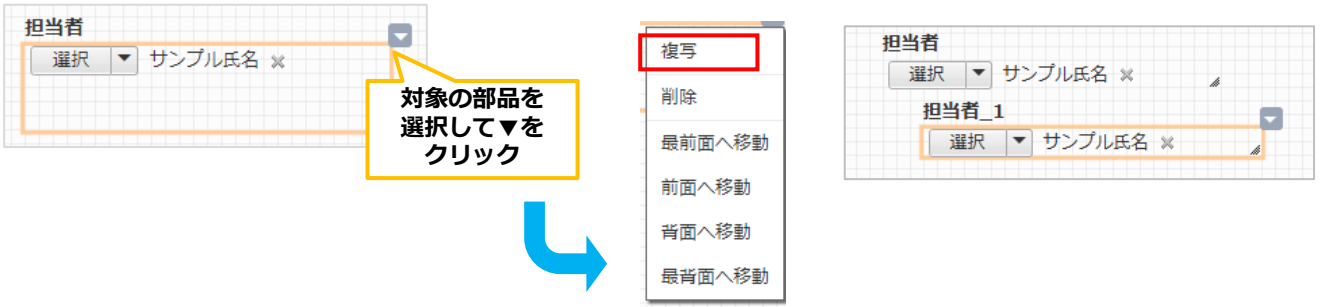
10 部品を追加する　-応用編②

部品を複写（コピー）する。

部品を複写して、同じ部品を作成できます。
対象の部品を選択し、部品の▼をクリックし、「複写」から部品の複写ができます。

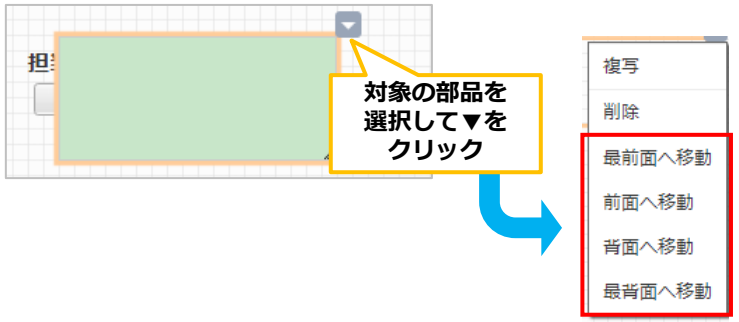
※部品選択時に、[ctrl]を押しながら複数の部品を選択して複写することも可能です。

※複写可能な部品には制限があり、複写できない場合もあります。

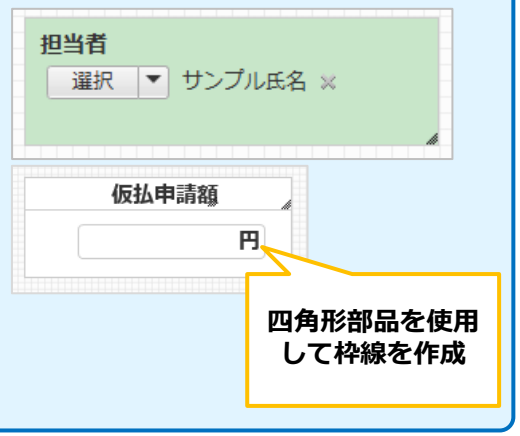


部品の重なりを調整する。

中央の画面デザインエリアで、該当部品を選択し、▼から部品の重なりを設定できます。



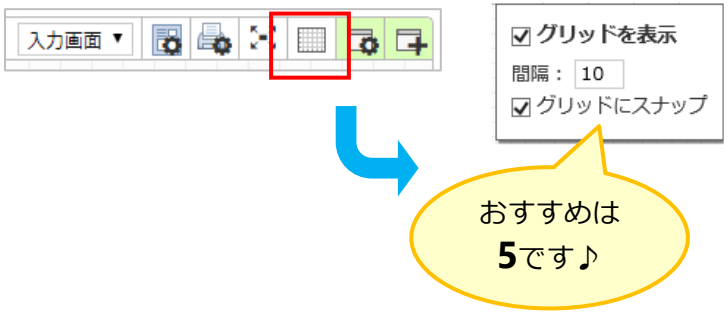
■使用イメージ



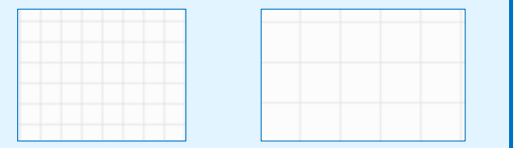
作成画面のグリッド（マス目間隔）を変更する。

中央の画面デザインエリアのグリッド間隔を変更できます。
グリッドに部品をスナップするかを設定します。

※間隔を変更することで部品の細かい配置変更が可能になります。



■使用イメージ



© NEOJAPAN Inc.

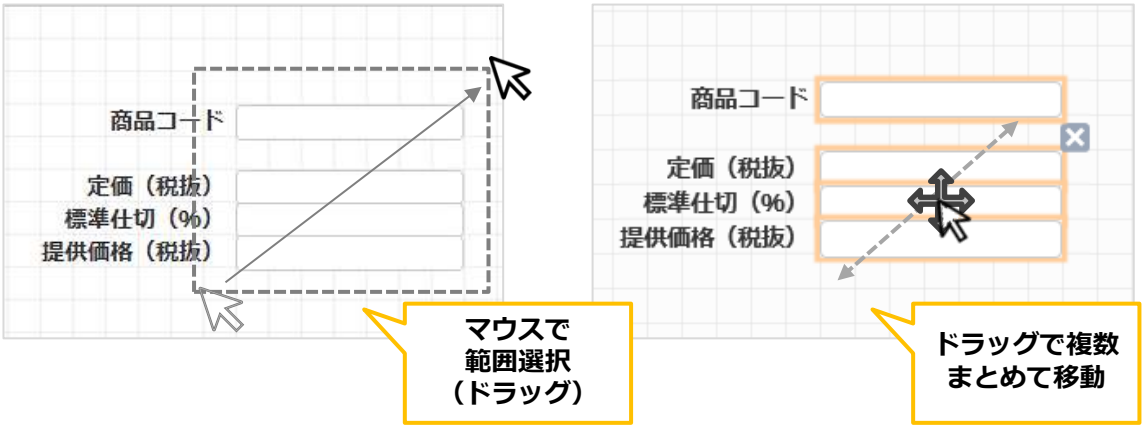
10 部品を追加する　-応用編③

複数の部品の配置を一括で移動する。

中央の画面デザインエリア上で、一括変更したい部品をマウスで範囲選択（ドラッグ）して、該当部品が選択状態になりましたら、マウスやキーボードの上下左右キーで纏めて移動できます。

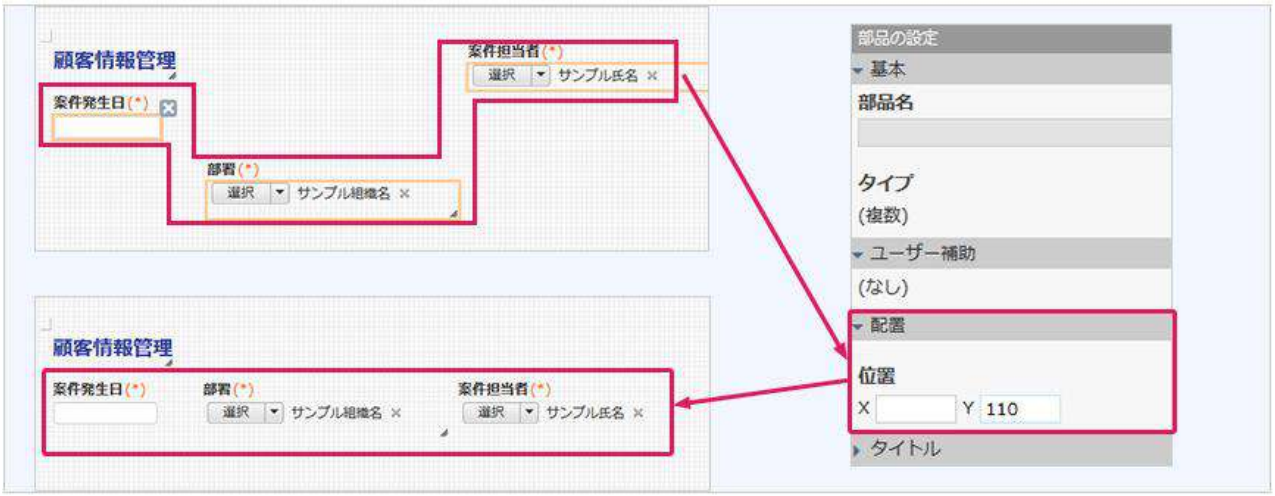
ポイント

- 部品の一部ではなく全体を囲うことで選択対象になります。
- 複数まとめて複写や削除も可能です。
- 範囲選択の他に、ctrlキーを押したまま対象の部品を選ぶことでも複数選択が可能です。



縦横の配置が不揃いの複数の部品を一括で位置揃えをする。

中央の画面デザインエリア上で、対象の複数の部品を選択し、「部品の設定パネル」の「配置＞位置」にて、X,Y座標を入力することで、一括で配置を設定できます。

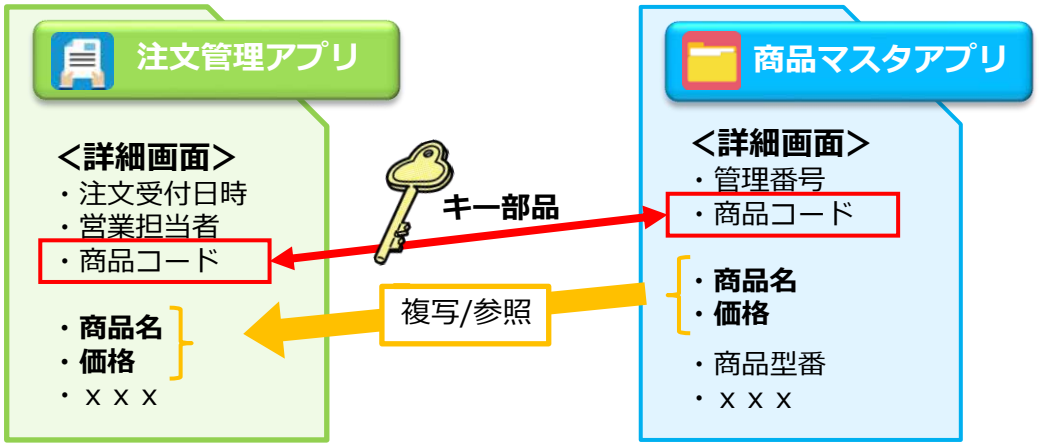


© NEOJAPAN Inc.

11 リレーション設定①

AppSuite上の他のアプリケーションと関係づけることで、関係づけたアプリのデータ値を参照や複写して取得することができます。

例として右図では、
「注文管理アプリ」と「商品マスタアプリ」があります。
注文管理アプリでデータを登録する際に、
「商品コード」を「キー部品」として、商品マスタアプリに登録されている商品名や価格を参照または複写して、
注文管理アプリ上に表示します。



■操作画面イメージ

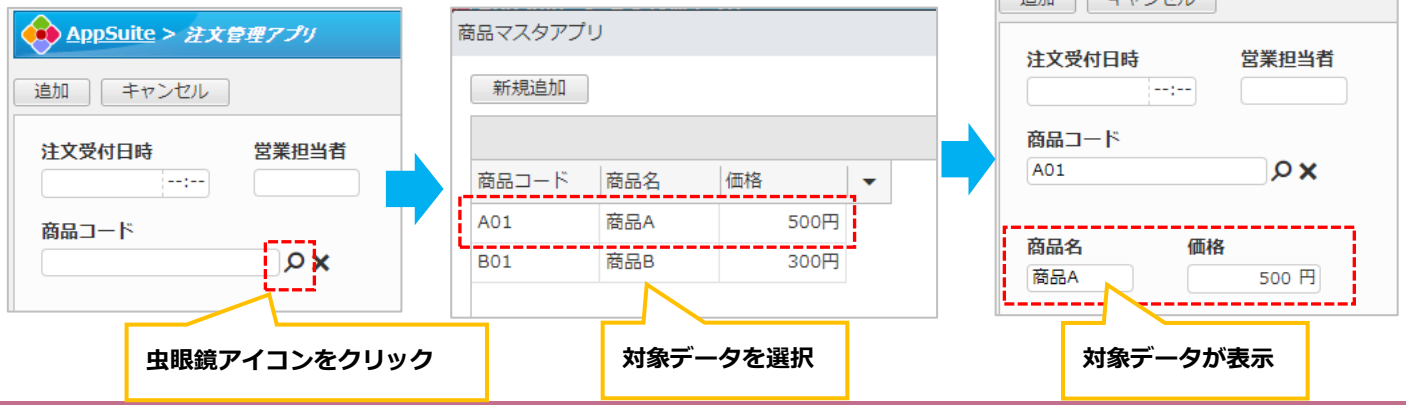
商品マスタアプリ

あらかじめ商品マスタアプリには
商品情報を登録しておきます。



注文管理アプリ

注文管理アプリでデータ登録の際に、登録画面内の
関係付けした部品の虫眼鏡アイコンを押下すると、
関係付け先のアプリのデーター一覧画面が表示され、
対象データを選択すると、関係付けたデータが表示されます。



© NEOJAPAN Inc.

11 リレーション設定②

2つのアプリにキー部品となる部品を用意します。
キー部品に設定できる部品は以下の表をご参照ください。

右図の場合、「文字（一行）」部品を配置し、
部品名を「商品コード」と設定します。

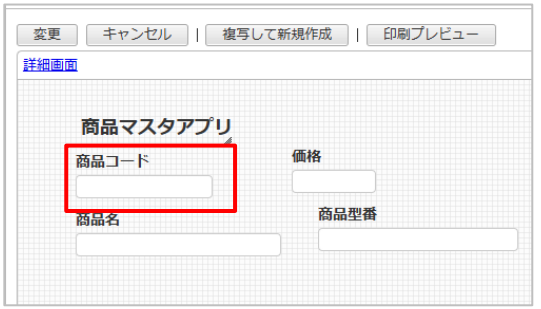
<キー部品に設定可能な部品の組み合わせ>

部品（キー）	関係付けるアプリケーションの部品
文字(一行)	文字(一行)
数値	数値、ID
日付	日付
日時	日時

アプリ①：注文管理アプリ



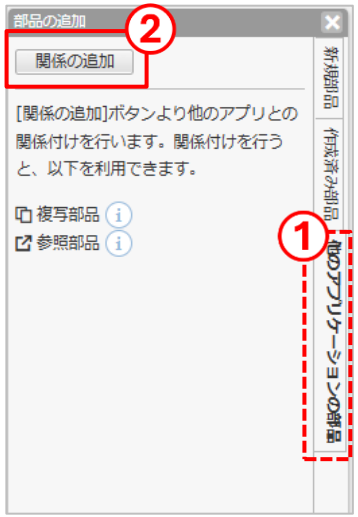
アプリ②：商品マスタアプリ

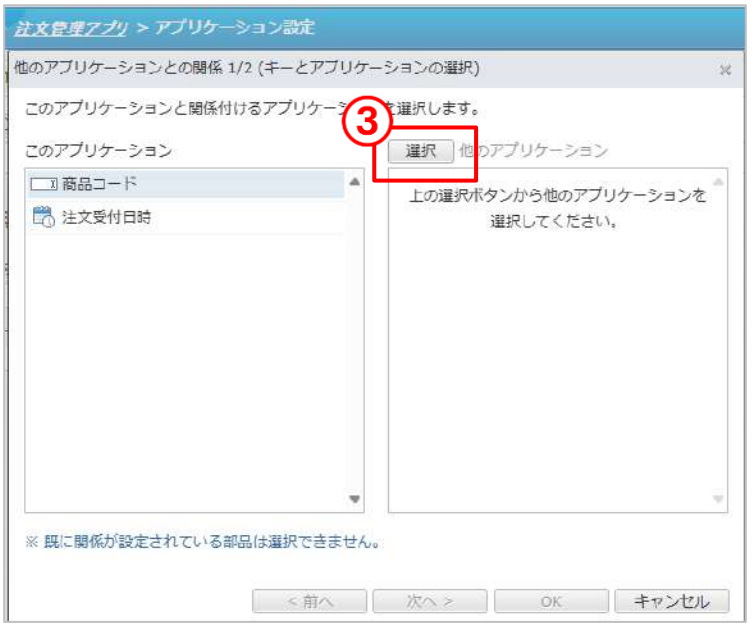


①マスタ情報を使いたいアプリ（注文管理アプリ）の
[部品の追加パネル]の右端、
[他のアプリケーションの部品]を開く。

②上部の[関係の追加]ボタンをクリック。
2つのアプリを紐づけるための新しいウィンドウ
が表示されます。

③右側の[選択]ボタンをクリック。
作成済みのアプリの一覧が表示されるので
紐づけたいアプリ（商品マスタアプリ）を選択。





© NEOJAPAN Inc.

11 リレーション設定③

連携先のアプリを選択すると双方のアプリでキー部品として使用できる部品の一覧が表示されます。

①キー部品として設定したい部品項目を各アプリ欄から選択します。

選択後、右下の［次へ］をクリックします。

②表示する部品

データ登録時、虫眼鏡アイコンをクリックした後に表示されるデータの一覧画面で表示させる項目を選択します。

をクリックしたまま、ドラッグ＆ドロップで順番の並び替えも可能です。

③

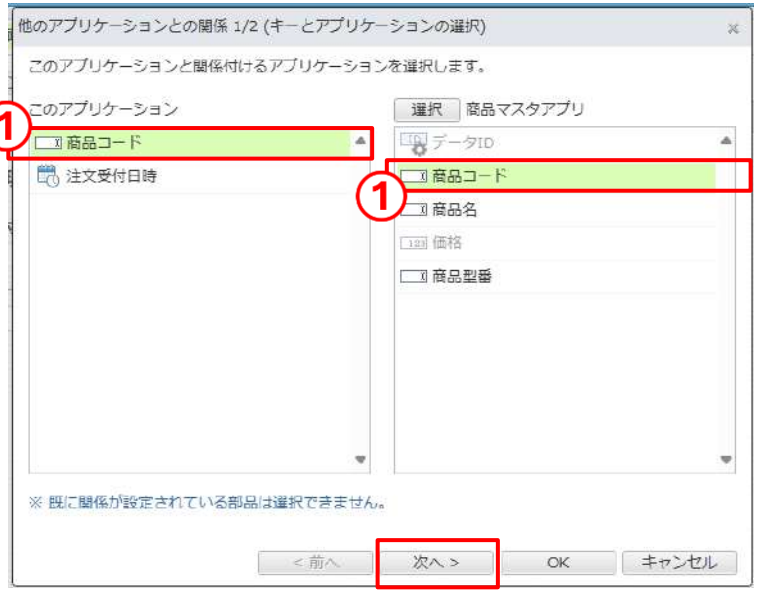
■データの既定の並び順

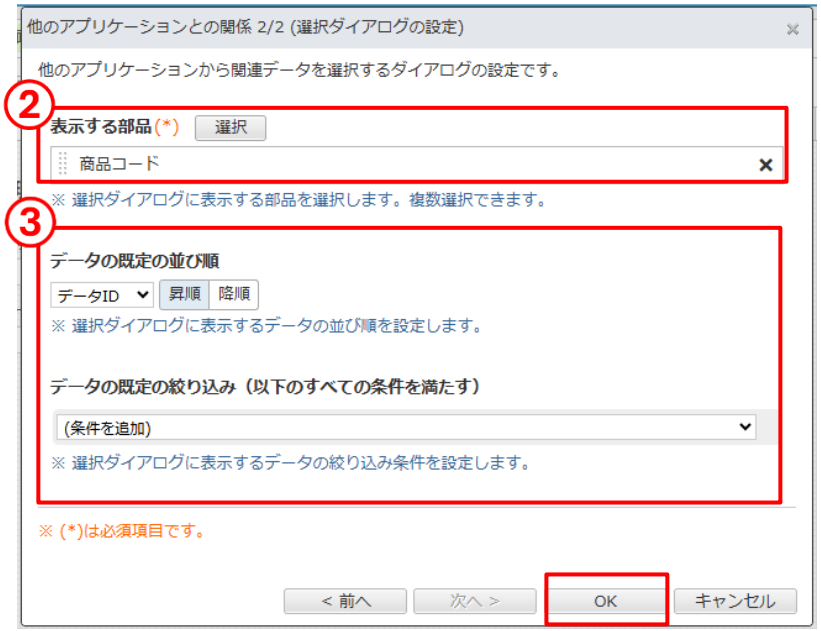
一覧画面のデータの並び順を設定します。

■データの既定の絞り込み

一覧画面に表示するデータの絞り込み条件を設定します。

設定したら最後に右下の[OK]ボタンをクリックします。





© NEOJAPAN Inc.

11 リレーション設定④

①設定が完了すると、キー部品に設定した項目に[虫眼鏡アイコン]が表示されます。

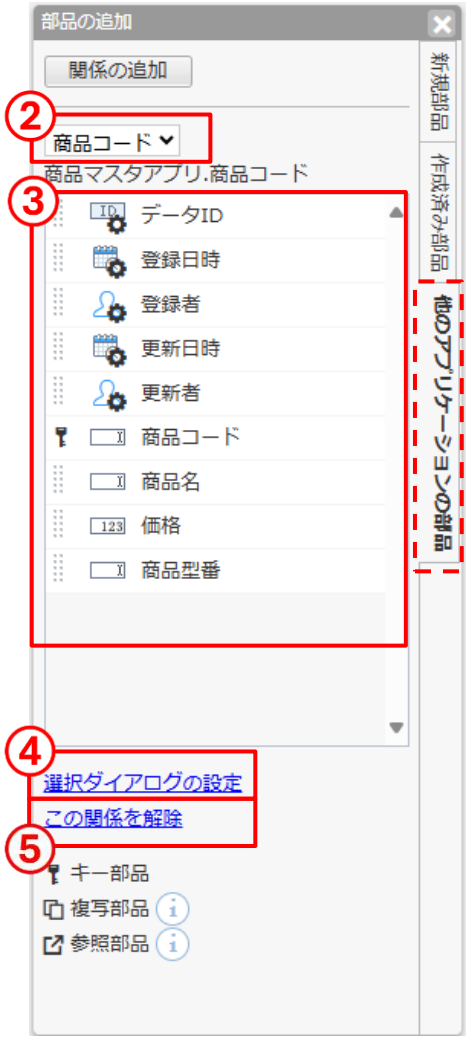
[部品の追加パネル]より右端のタブ、
[他のアプリケーションの部品]を開きます。

②キー部品を選択できます。
複数連携設定を行っている場合、
②のプルダウンから表示する連携設定を
切り替えることができます。

③連携先のアプリの詳細画面に登録されている項目の一覧が表示されます。

④再度、連携設定を編集することができます。
⑤連携を解除します。





ポイント

1つのアプリの中に複数の連携設定をすることも可能です。

例）
案件管理アプリに顧客マスタと商品マスタ、見積管理アプリの3つのアプリの情報を紐づける。

© NEOJAPAN Inc.

11 リレーション設定⑤

⑥参照先の部品を配置します。

例）**注文管理アプリ**に**商品マスタアプリ**の
「商品名（文字（一行）部品）」を参照したい場合

[他のアプリケーションの部品]の一覧から中央エリアに「商品名（文字（一行）部品）」を配置します。

⑦配置すると、[複写部品]か[参照部品]かを設定するダイアログが表示されます。運用に合わせて、いずれかを選択してください。

さらにその他の連携部品（例：[価格(数値部品)]）も呼び出したい場合は、同様に[部品の追加パネル]>[他のアプリケーションの部品]を操作します。

リレーションの設定は以上で終了となります。



ポイント

参照部品→他のアプリケーションの部品のデータ値を参照して表示します。
登録後も紐づいていますので参照先アプリケーションでデータ値が変わると、表示先アプリケーションも連動して値が変わります。

複写部品→他のアプリケーションの部品のデータ値を複写（コピー）します。
登録後は紐づいていませんので参照先アプリケーションでデータ値が変わっても、表示先アプリケーションの値は変わりません。

© NEOJAPAN Inc.

12 リレーション設定の絞り込み条件

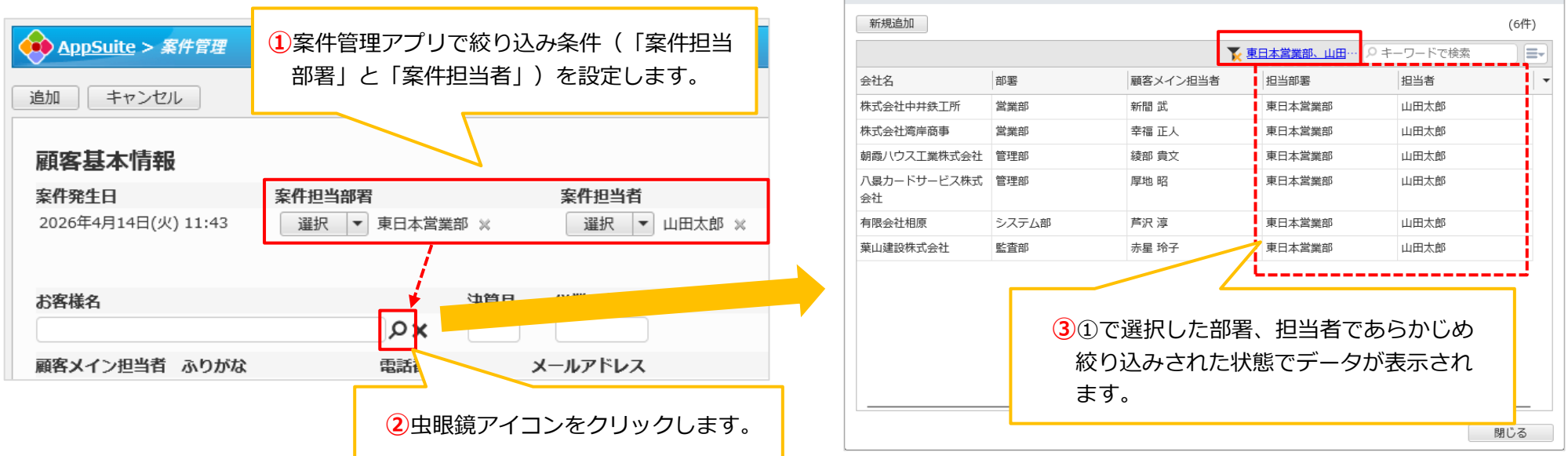
こんなお悩みありませんか？



画面上の情報と連動し、関連データをピンポイントに自動絞り込み！
選択の手間を省き、入力作業の効率化と負担軽減を実現します。

リレーション設定を行う際、画面に表示されている情報を条件として、
参照するデータを自動で絞り込むことができます。
膨大なデータから探す手間がなくなり、スムーズな入力をサポートします。

操作イメージ：案件管理アプリと得意先マスタメンテナンスの連携



※絞り込み条件を解除・変更しても①の値は変わりません。

© NEOJAPAN Inc.

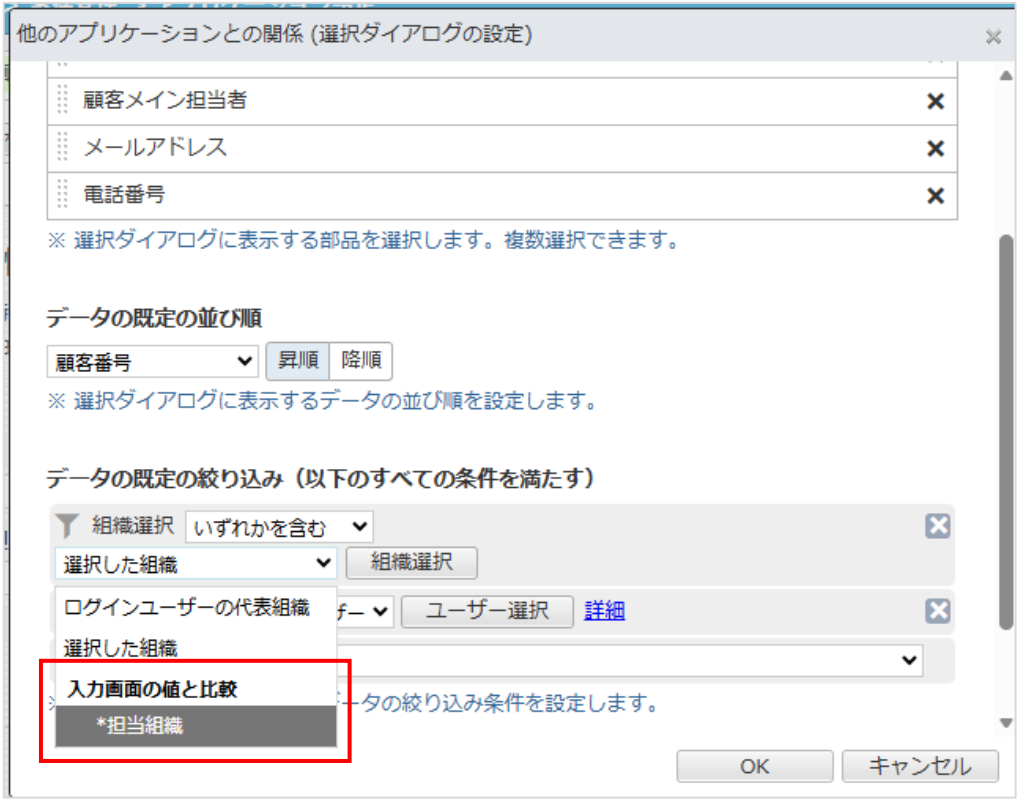
12 リレーション設定の絞り込み条件 -[設定方法]

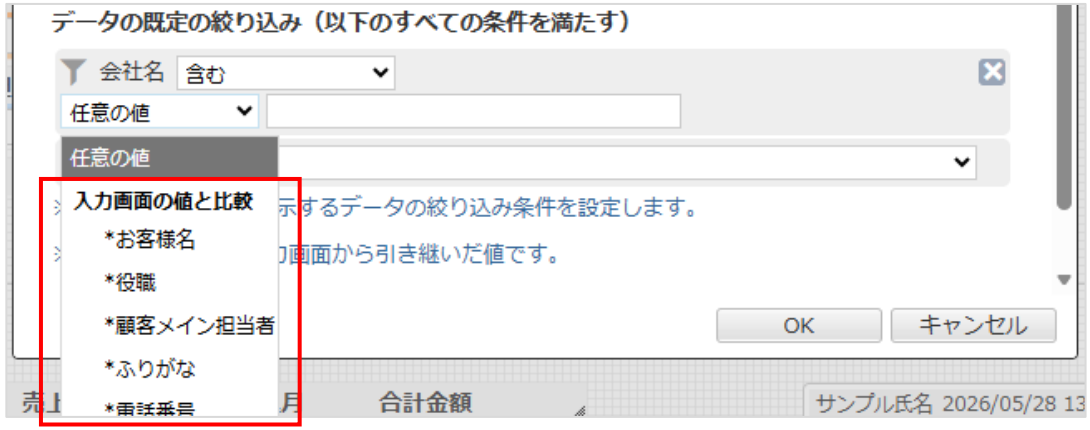
【設定方法】

①[部品の追加パネル]から[関係の追加]ボタンをクリックし、
連携設定を行います。
（流れは通常のリレーション設定と同じです。）
詳細は前ページのスライド「11.リレーション設定②・③」
をご参照ください。

②設定を行う際、「**データの既定の絞り込み**」より、
絞り込み条件として使用したい項目を選択します。

青文字の [詳細] ＞ プルダウンの順にクリックします。
「**入力画面の値と比較**」の下にある、頭文字にアスタリスク
（*）がついた部品を選択します。





© NEOJAPAN Inc.

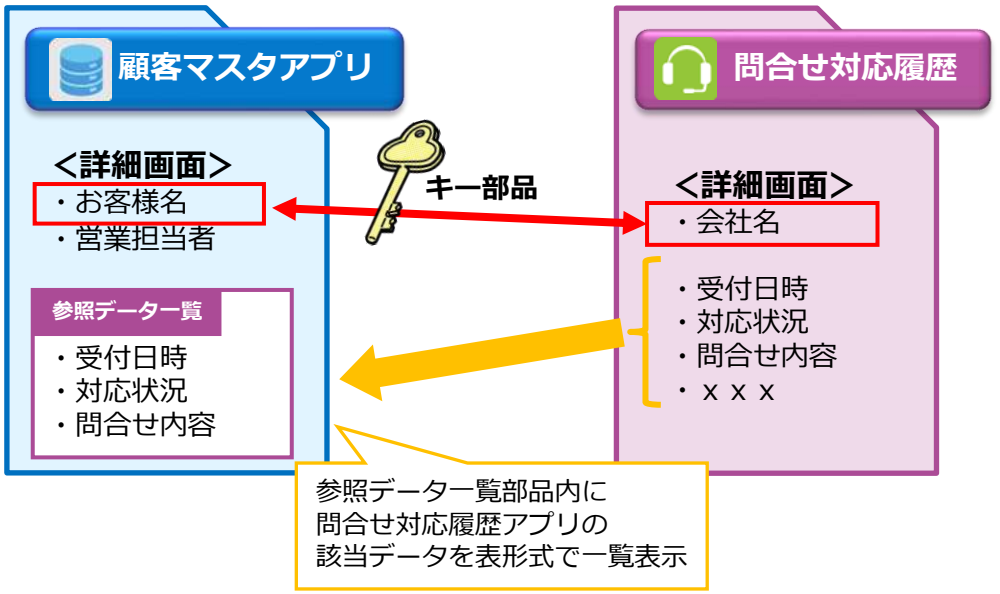
13 部品を追加する -参照データー覧部品①

AppSuite上の他のアプリケーションと関係づけ、
値が一致したデータを取得して一覧で表示します。

右図の場合、
顧客マスタアプリの「お客様名」と、
問合せ対応履歴の「会社名」を
キー部品（照合条件）として設定します。

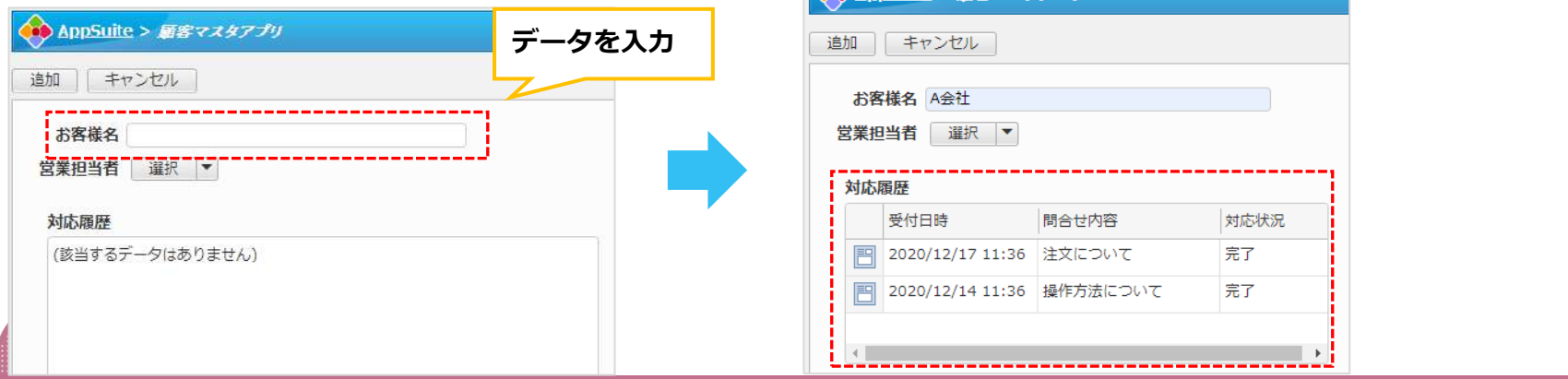
キー部品として指定した項目の任意の値が両アプリで一致した場合、問合せ対応履歴の一致するデータを、顧客マスタ側に一覧表示することが可能です。

顧客マスタでA社を登録する際には、
問合せ対応履歴に記録されたA社からの問合せ内容が、顧客マスタ内の参照データー覧部品に一覧表示されます。



■操作画面イメージ　顧客マスタアプリ

キーに設定した項目に任意の値を入力すると、関係づけしている参照先のアプリ上の既存データから条件に一致した該当データを一覧で表示します。



© NEOJAPAN Inc.

13 部品を追加する　-参照データー覧部品②

【設定方法】

①**[新規部品]**タブ内の**「参照データー覧」**部品を中央のデザインエリアに配置します。

②配置後、部品内の**「参照データー覧の詳細設定」**リンクを押下します。

※次ページへ



© NEOJAPAN Inc.

13 部品を追加する -参照データー覧部品③

③参照先アプリケーション
参照先のアプリケーションを選択します。

例の場合、**問合せ対応履歴(アプリ)**を選択します。

④関連データを見つける条件
双方のアプリ内で一致条件に使用するキーとなる部品を選択します。

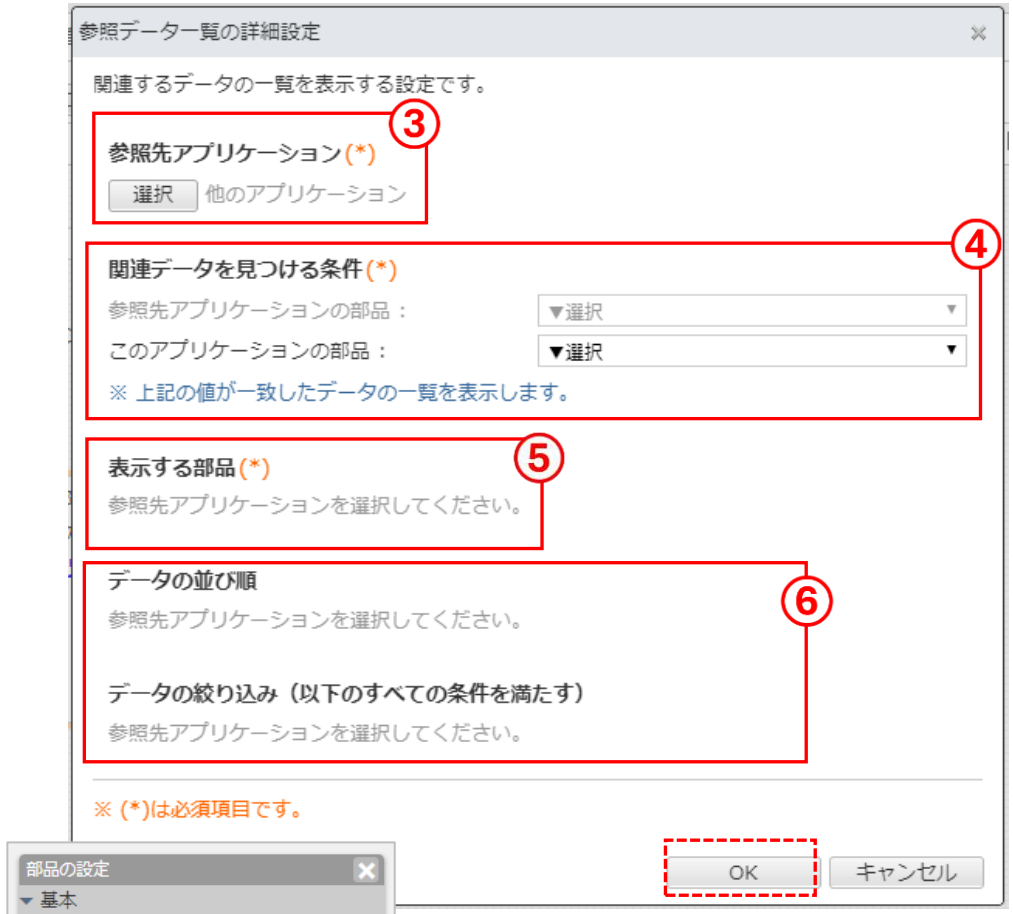
例の場合、
参照先アプリケーションの部品では、
問合せ対応履歴の**「会社名」**部品を選択、
このアプリケーションの部品では、
顧客マスタアプリの**「お客様名」**部品を選択します。

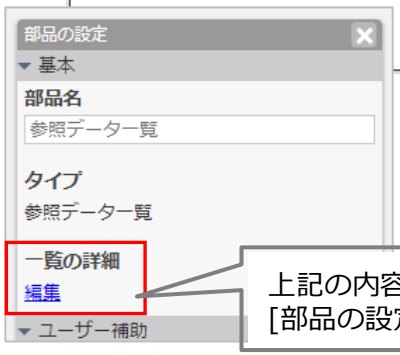
⑤表示する部品
参照先アプリケーションのどの部品の値を取得して一覧表示するかを、対象の部品を選択します。

例の場合、「受付日時」「対応状況」「問合せ内容」の各部品を選択します。

⑥データの並び順/データの絞り込み
取得して一覧表示する際のデータの並び順や「データの絞り込み」では、さらに条件を設定して条件に一致したデータのみを表示させることができます。

[OK]ボタンで設定は終了です。





ポイント
参照先と参照元のアプリが同一でも設定可能です。

上記の内容の設定変更は、画面右側の
[部品の設定パネル]内の「編集」から行ってください。

© NEOJAPAN Inc.

14 プラグイン部品について

プラグイン部品とは、、、

プラグイン部品は、試験的に実装されている部品になります。
基本的な部品とは少々異なる機能を持っています。

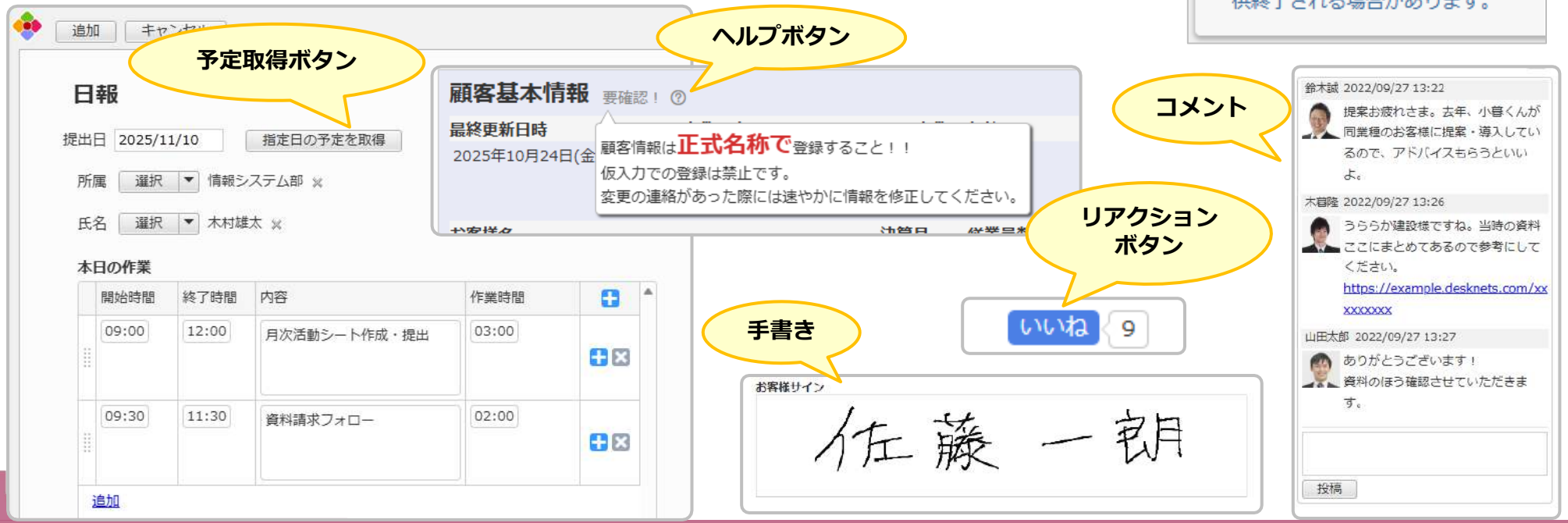
使用するには<u>プラグイン部品とは別に、</u>**<u>データを保存するための部品</u>**を配置する必要があります。

◆ご利用バージョンによって使用できるプラグインの種類が異なります。

◆プラグインの使用にはシステム管理者の許可が必要です。

◆システム管理者により、プラグインがあらかじめインストールされている必要があります。





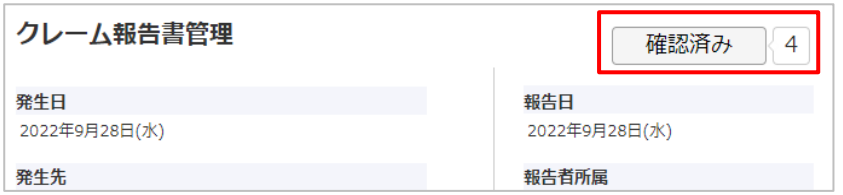
15 プラグイン部品を追加する　-リアクション部品①

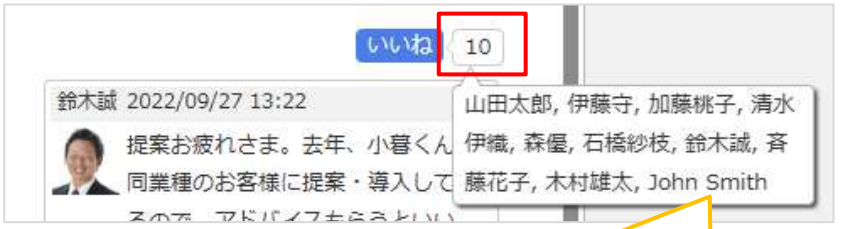
【リアクション部品】
データの参照画面上で、「いいね」などのリアクションを残せる部品です。
ボタンの色やテキストは任意に変更でき、「いいね」の他に「確認済み」「役に立った」「賛成・反対」などの様々な情報を残すことができます。

**データの参照画面から
ボタンクリックで
カウント±1**









数字の吹き出しをクリックすると誰がリアクションしたのか分かります。

© NEOJAPAN Inc.

15 プラグイン部品を追加する　-リアクション部品②

＜配置する部品＞

プラグイン：リアクション部品

保存用部品：ユーザー選択、数値

【設定方法】

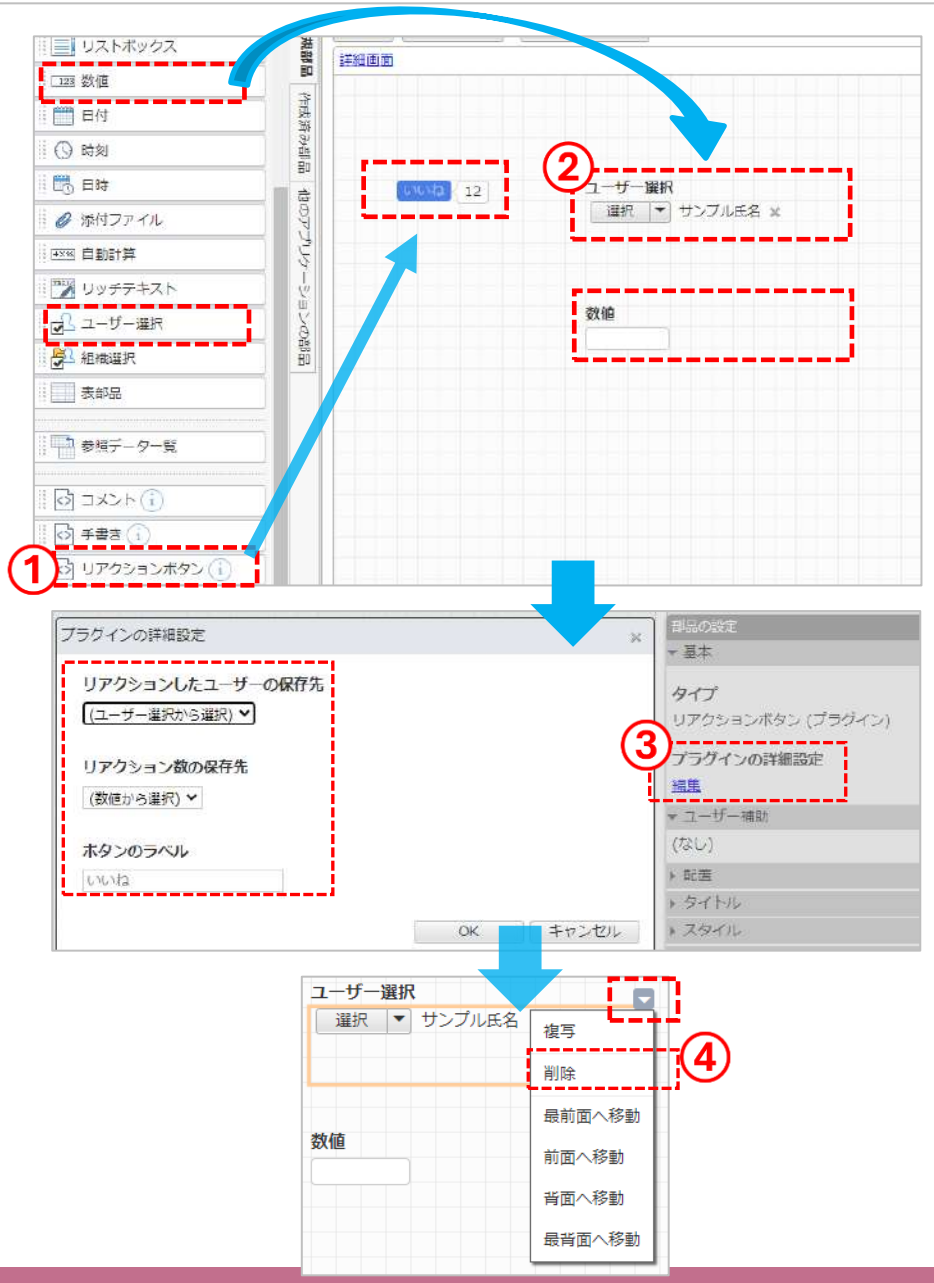
①詳細画面に[リアクションボタン]部品を配置します。

②詳細画面に[ユーザー選択]部品と、[数値]部品を配置します。
※ユーザー選択部品は「複数選択」に設定してください。

③リアクション部品の設定パネルから
「プラグインの詳細設定」の「編集」を開き、保存先に②で配置したユーザー選択部品と、数値部品を選択してください。

ボタンのラベル：ボタンの名称を変更できます。

④ 配置した②のユーザー選択部品と、数値部品を選択して、▼から削除を行い、詳細画面から取り除いてください。
※必ずしも取り除く必要はございません。



⚠ 注意事項

最大**999件**までしか保存されません。
999件を超えるリアクションのデータ数は登録できません。

© NEOJAPAN Inc.

15 プラグイン部品を追加する　-コメント部品①

【コメント部品】
データの参照画面上で、データに対してコメントの追加・削除が行える部品です。



【制限事項】：
コメント部品の顔写真はアプリ詳細画面でのみ表示されます。
印刷、HTMLエクスポート、ワークフロー連携時の文書管理保存・スマホ表示では顔写真は表示されません。

© NEOJAPAN Inc.

15 プラグイン部品を追加する -コメント部品②

＜配置する部品＞

プラグイン：コメント部品

保存用部品：文字（複数行）

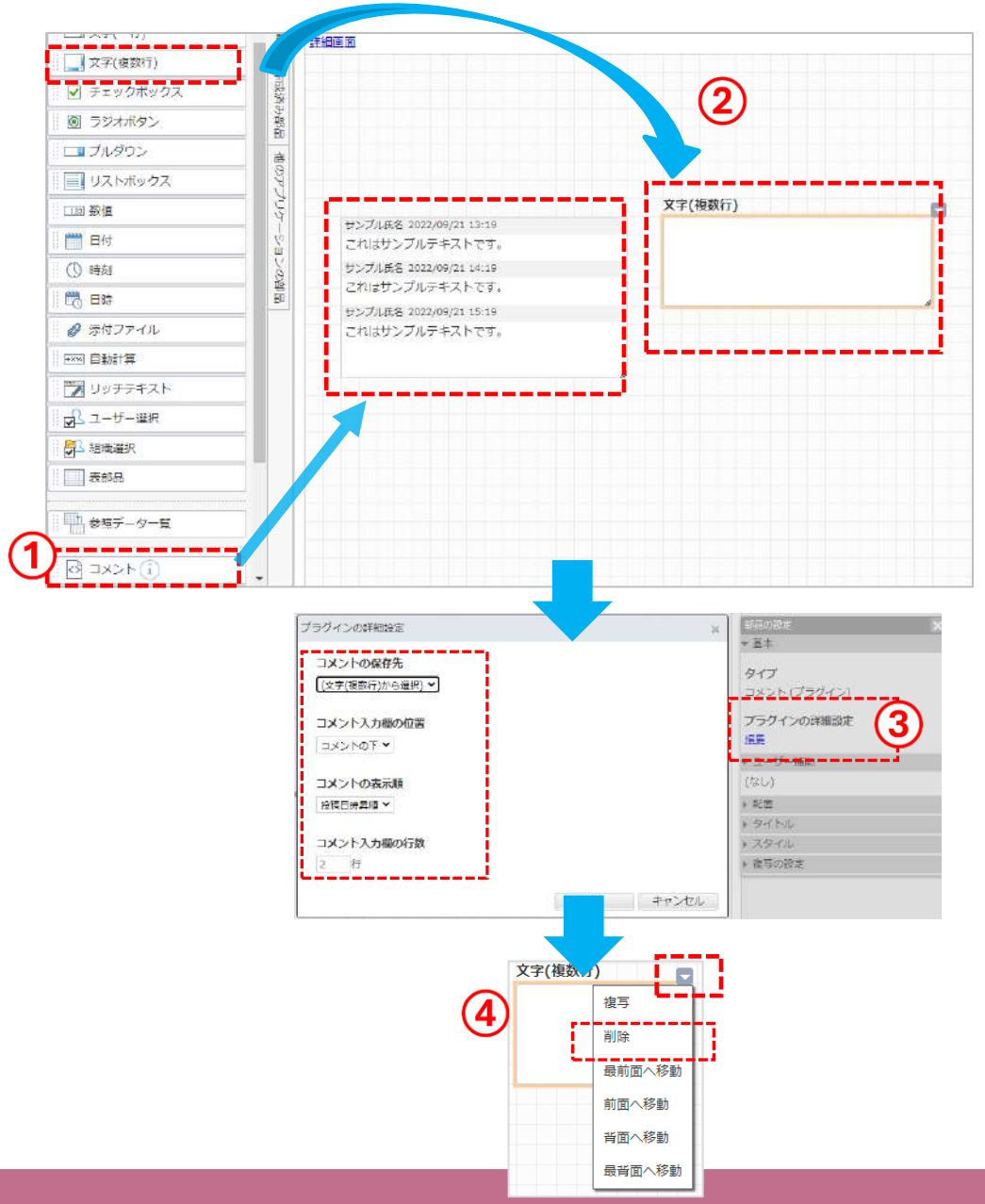
【設定方法】

① 詳細画面に「コメント」部品を配置します。

② 詳細画面に文字（複数行）部品を配置します。

③ コメント部品の設定パネルから「プラグインの詳細設定」の「編集」を開き、保存先に②で配置した文字（複数行）部品を選択してください。

④ 配置した②の文字（複数行）部品を選択して、▼から削除を行い、詳細画面から取り除いてください。



© NEOJAPAN Inc.

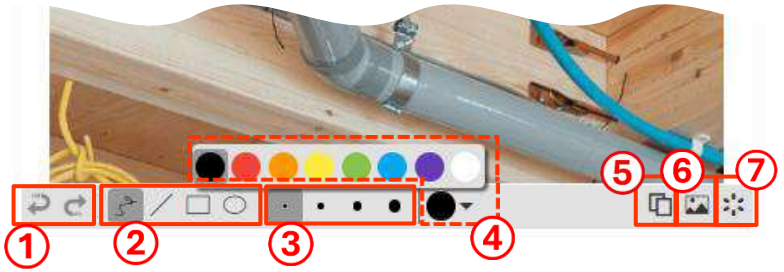
15 プラグイン部品を追加する -手書き部品①

【手書き部品】
データの追加・編集画面上で、図やメモなどの手書き入力が行える部品です。
iPadやAndroidタブレットを利用すれば、現場で撮影した写真の上に手書きのメモを残すことができます。



※手書き部品に対しての操作は、
データの追加または変更画面上で操作します。





①元に戻す・繰り返す
②ペン・直線・四角・丸の描画
③ペンの太さ
④カラーパレット
※クリックするとカラーパレットが展開されます。
⑤クリップボードからの画像貼り付け
⑥画像追加
※GIF、JPEG、PNGのみ追加することができます。
⑦全削除

© NEOJAPAN Inc.

15 プラグイン部品を追加する　-手書き部品②

＜配置する部品＞

プラグイン：手書き部品

保存用部品：添付ファイル

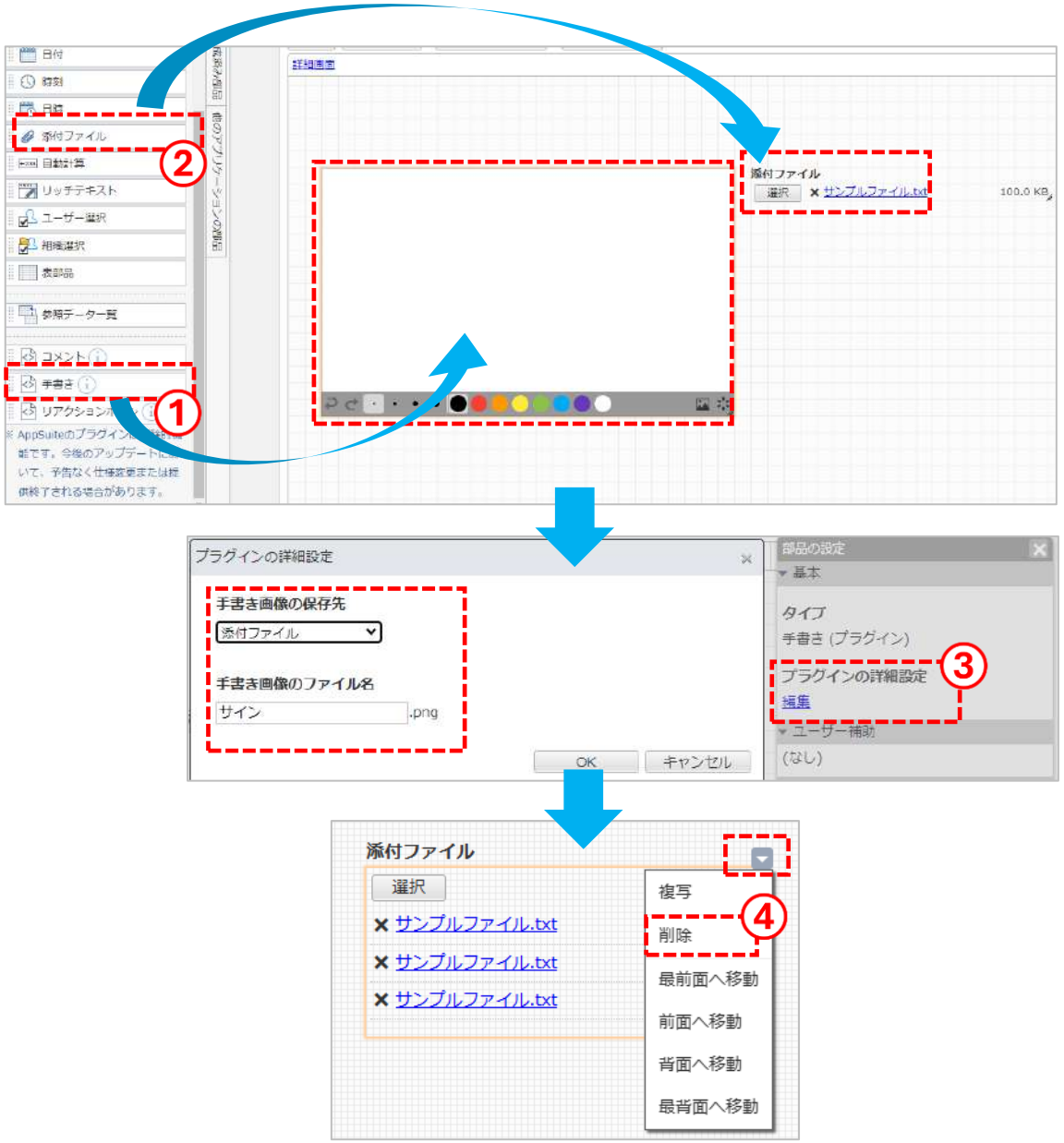
【設定方法】

① 詳細画面に「手書き」部品を配置します。

② 詳細画面に添付ファイル部品を配置します。

③ 手書き部品の設定パネルから「プラグインの詳細設定」の「編集」を開き、保存先に②で配置した添付ファイル部品を選択してください。
ファイル名もあわせて変更してください。

④ 配置した②の添付ファイル部品を選択して、▼から削除を行い、詳細画面から取り除いてください。



© NEOJAPAN Inc.

15 プラグイン部品を追加する　- PDFビューア①

【PDFビューア部品】
ブラウザ画面上でPDFの内容を表示する事ができる部品です。



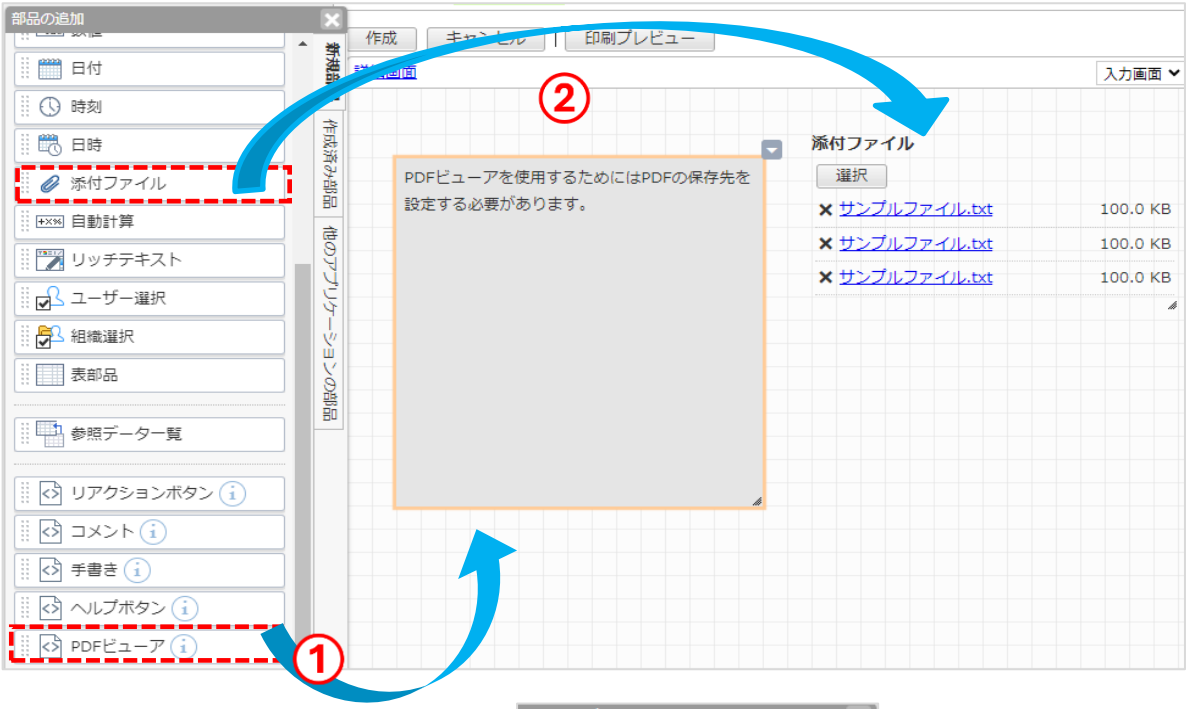
© NEOJAPAN Inc.

15 プラグイン部品を追加する　- PDFビューア②

＜配置する部品＞

プラグイン：PDFビューア部品

保存用部品：添付ファイル



【設定方法】

① 詳細画面に「PDFビューア」部品を配置します。

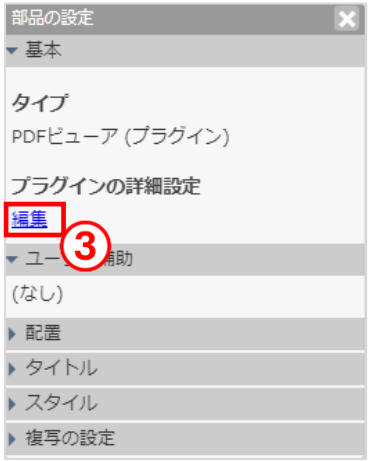
② 詳細画面に「添付ファイル」部品を配置します。

③ PDFビューア部品の設定パネルから「プラグインの詳細設定」の「編集」を開きます。

④ PDFの保存先となる添付ファイル部品を選択します。

⑤ 配置した②の添付ファイル部品を選択して、
詳細画面から取り除いてください。





© NEOJAPAN Inc.

15 プラグイン部品を追加する　- ヘルプボタン①

【ヘルプボタン部品】
入力・編集画面内から、任意のメッセージ・画像を吹き出しで表示できる部品です。
アプリの使い方や入力方法、注意点などを、画面スペースを占有せずに加えることができます。



© NEOJAPAN Inc.

15 プラグイン部品を追加する　- ヘルプボタン②

＜配置する部品＞
プラグイン：ヘルプボタン
保存用部品：なし

【設定方法】

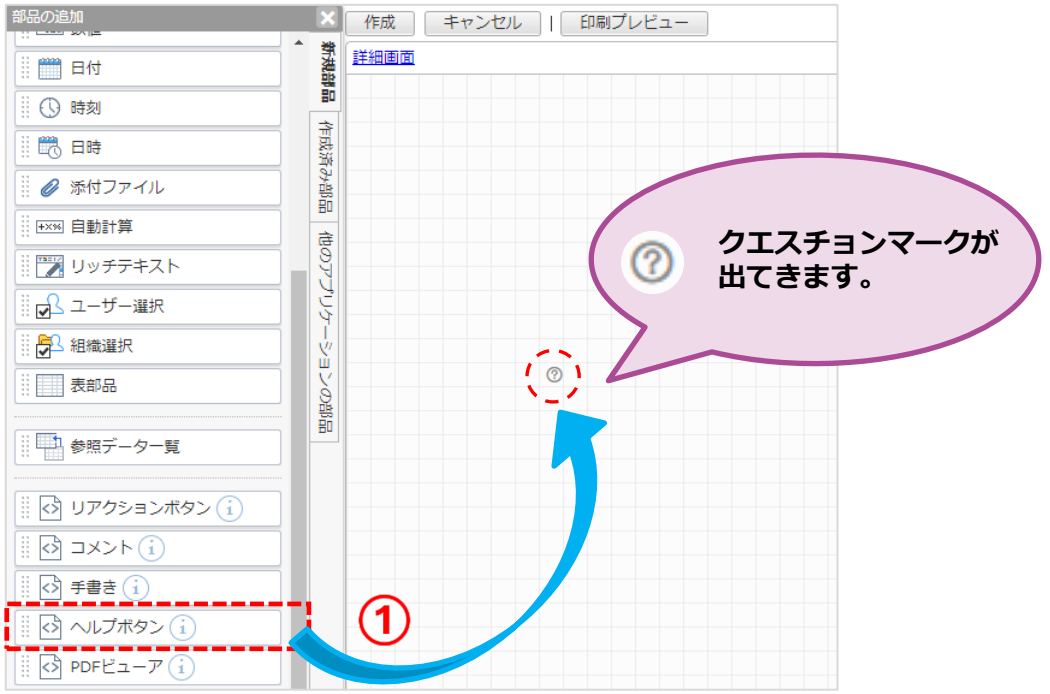
①詳細画面に「ヘルプボタン」部品を配置します。

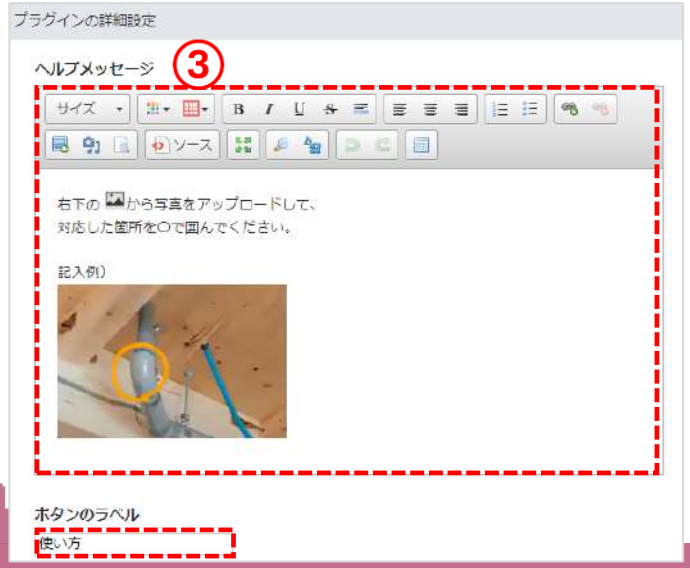
②ヘルプボタン部品の設定パネルから「プラグインの詳細設定」の「編集」を開きます。

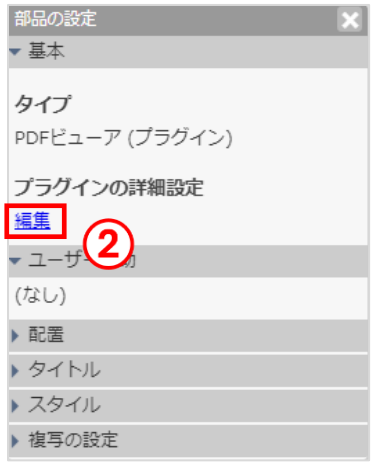
③ヘルプメッセージとボタンのラベルを設定します。

■**ヘルプメッセージ・・・**
ヘルプボタンを押下した際に表示される
メッセージを入力します。

■**ボタンのラベル・・・**
詳細画面上に表示されるボタンの名称を入力します。





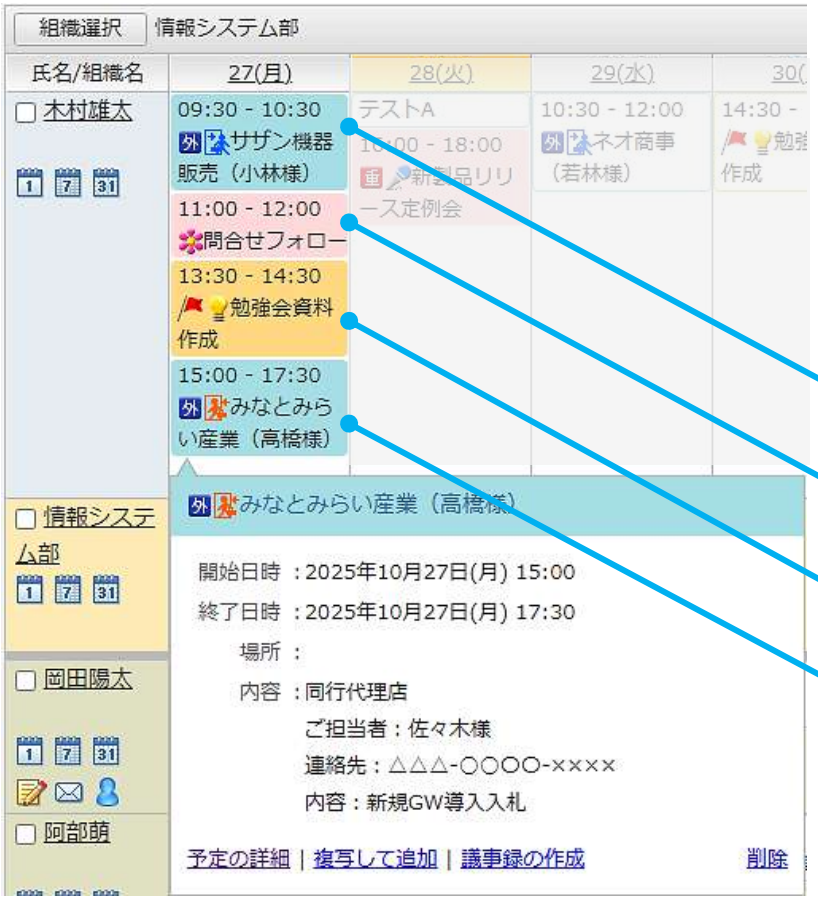


© NEOJAPAN Inc.

15 プラグイン部品を追加する　- 予定取得ボタン①

【予定取得ボタン部品】

ボタン押下で指定した日付のスケジュールを表部品に一括挿入できる部品です。
日報や作業報告書など、その日の予定を引用してデータを登録したいシーンで活用できます。





予定取得ボタン
（プラグイン）

取得ボタンをクリックで選択された
日付の予定が表部品に自動挿入されます。

© NEOJAPAN Inc.

15 プラグイン部品を追加する　- 予定取得ボタン②

＜配置する部品＞

プラグイン：予定取得ボタン

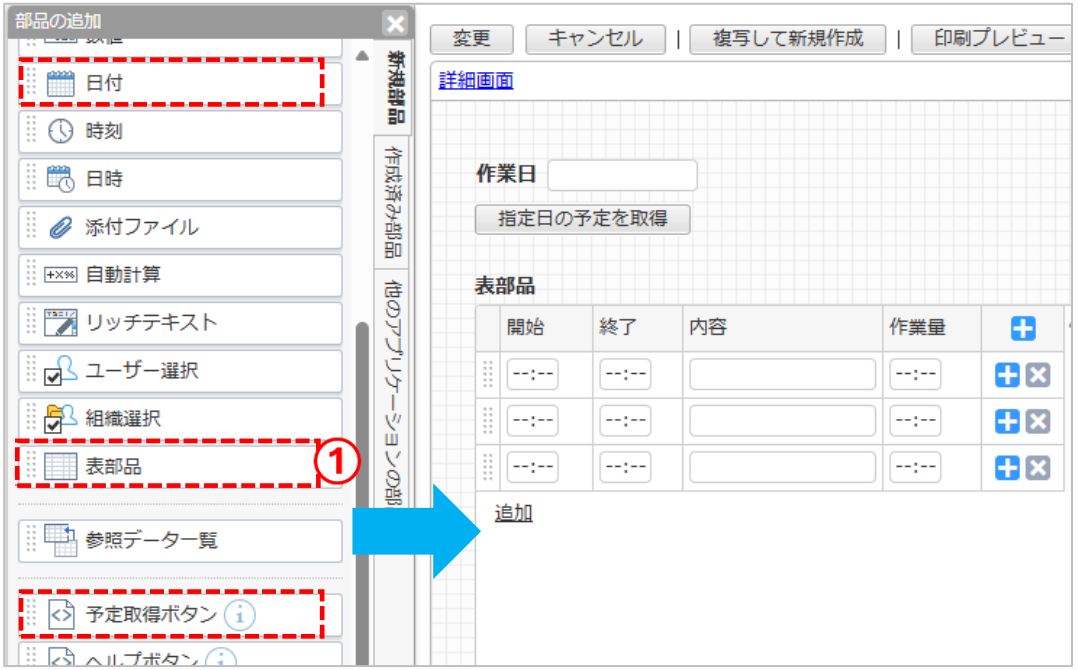
保存用部品：日付部品、表部品

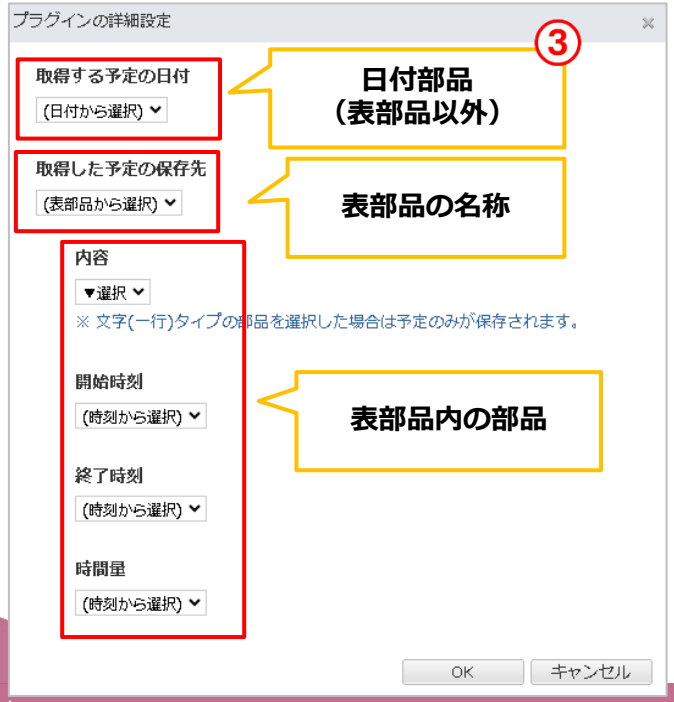
【設定方法】

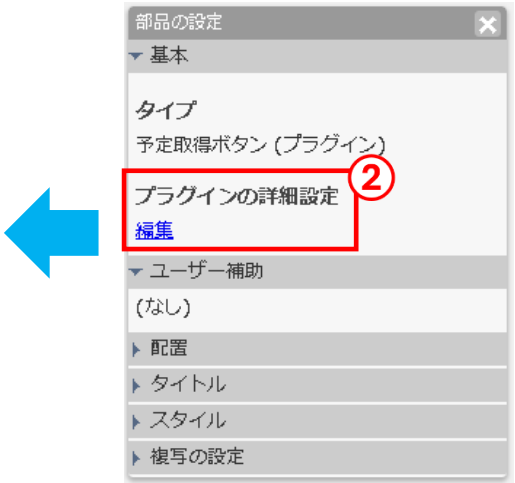
①詳細画面に「予定取得ボタン」部品と日付部品、表部品を配置します。

②予定取得ボタン部品の設定パネルから「プラグインの詳細設定」の「編集」を開きます。

③対象となる部品を選択します。
※表部品の内容をすべて設定せずともご利用いただけます。







取得できるスケジュールの情報

- 「開始時間」(時刻部品)
- 「終了時間」(時刻部品)
- 「スケジュールの予定名・内容」(文字(一行)または、文字(複数行))
- 「時間量」(時刻)

※文字（一行）を配置した場合は「予定名」、文字（複数行）を配置した場合は「予定名」と「内容」が反映されます。

© NEOJAPAN Inc.

15 プラグイン部品を追加する - QRコード①

【QRコード部品】
文字（一行）、文字（複数行）、自動計算をQRコードに変換します。
※自動計算タイプの部品は、「計算結果の表示形式」が"文字"の場合のみ、QRコードが作成されます。
　スマホなどでQRコードを読み込むと対象のデータを表示します。





※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

© NEOJAPAN Inc.

15 プラグイン部品を追加する - QRコード②

＜配置する部品＞

プラグイン：QRコード

保存用部品：文字(一行)/文字(複数行)/自動計算

【設定方法】

①詳細画面に「QRコード」部品とQRコード化するデータを入力するための部品（文字(一行)/文字(複数行)/自動計算のいずれか）を配置します。

②QRコード部品の設定パネルから「プラグインの詳細設定」の「編集」を開きます。

③対象となる部品を選択します。



⚠QRコードプラグインの制限事項に関する補足

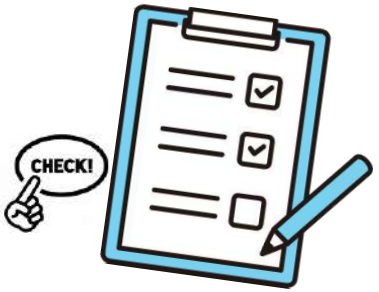
・他のアプリから複写した部品でQRコードを生成する場合、関係付けした他のアプリでキー部品が「値の重複」を禁止しておらず、かつ、該当の複写部品が詳細画面から取り除かれていた場合、正しいQRコードは表示されません。

・申請書アプリケーションにQRコードプラグインを追加して使用する場合に、申請完了時に文書管理に保管されるhtmlファイルにはQRコードが表示されません。

© NEOJAPAN Inc.

16 プラグイン部品の制限事項

- ☑ 各プラグイン部品自体にはデータは保存されません。
  プラグイン部品を配置（設定）する際に、画面に同時に配置した部品にてデータが保存されます。
  例）　手書き部品を使用する場合は、手書き部品と添付ファイル部品を画面に配置する必要があり、
  　　手書きのデータは添付ファイル部品側にて保存される仕様となります。



- ☑ プラグイン部品は一覧画面に配置できません。

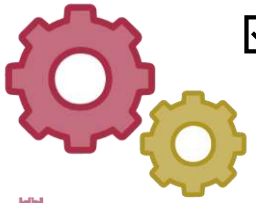
- ☑ 各プラグインで情報を保存できる上限は、保存先に指定した部品の仕様に依存します。
  例えば、リアクション部品の場合、最大999件まで保存可能。

- ☑ 各プラグインの保存先として指定した部品は、入力画面から取り除いた状態でアプリを使用してください。
  プラグインの保存先部品のデータ値を、手動や置換、API等で編集した場合の動作は保証されませんので
  実施しないよう注意してください。正常に動作しない場合もあります。

- ☑ 参照画面からデータの編集を行えるプラグイン部品（リアクションボタン部品、コメント部品）については、
  それらの部品に対し操作するユーザーに、アプリのアクセス権設定でデータおよび保存先部品の
  部品アクセス権設定の変更権限が許可されている必要があります。

- ☑ 参照画面からデータの編集を行った場合も、そのデータの更新日時と更新者が更新される仕様となります。
  同様に、「データの追加・変更時の処理」にてデータの変更時に必ず実行する処理が設定されている場合、
  その処理が実行されます。

- ☑ データを「複写して追加」を使用する際、プラグイン部品に保存された値を、複写された新しいデータに
  引き継がれない様にする場合、当該部品のユーザー補助の「複写して追加画面で値を複写しない」に
  チェックを付けてください。



その他の制限事項はこちら↓
制限事項（AppSuite）｜グループウェア desknet's NEO
https://www.desknets.com/neo/requirement/limit_appsuite.html

© NEOJAPAN Inc.

17 申請書アプリケーション①

申請書アプリケーションとは、、、

desknet's NEOのワークフロー機能と連携することに特化したアプリケーションです。
ワークフローで使用する申請書フォーム（入力画面）を申請書アプリケーションで作成します。

※アプリを作成すると、自動でワークフロー機能と連携し、ワークフロー機能の[申請書管理]> [申請書(表題・書式・経路)設定]に申請書として追加されます。申請経路はワークフロー機能側の[申請書(表題・書式・経路)設定]で作成します。

■作成方法について

申請書アプリケーションの作成手順は、通常アプリケーションの作成手順と同様です。

※通常アプリケーションと比較して、申請書アプリケーションでは専用のシステム部品が利用できます。
（「申請組織」や「決裁状況」部品など。）

注意事項

申請書アプリケーションの作成には、システム管理者、またはワークフロー機能の
・「すべての申請」の機能管理者
・申請書・経路管理者
いずれかの権限が必要です。

■ワークフロー機能の申請書式との違いは?

申請書アプリケーションでは、書式（入力画面）の細かなレイアウト調整が可能です。
そのため、現在ご利用中の申請書フォーマットを再現することもできます。
また、各部品におきましても、入力制限など標準ワークフローよりも柔軟な設定が可能です。

ワークフロー機能との違いの詳細は下記ページにてご案内しておりますので、ご確認ください。

[AppSuite活用術：ワークフローとAppSuiteのどちらを使ったらよいの？]
https://www.desknets.com/neo/users/media/appsuite/5401

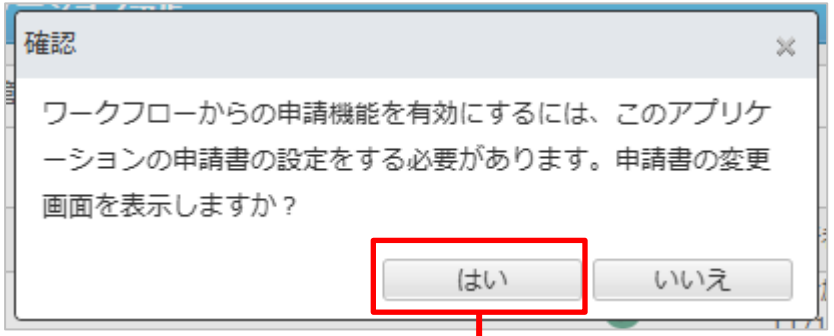


© NEOJAPAN Inc.

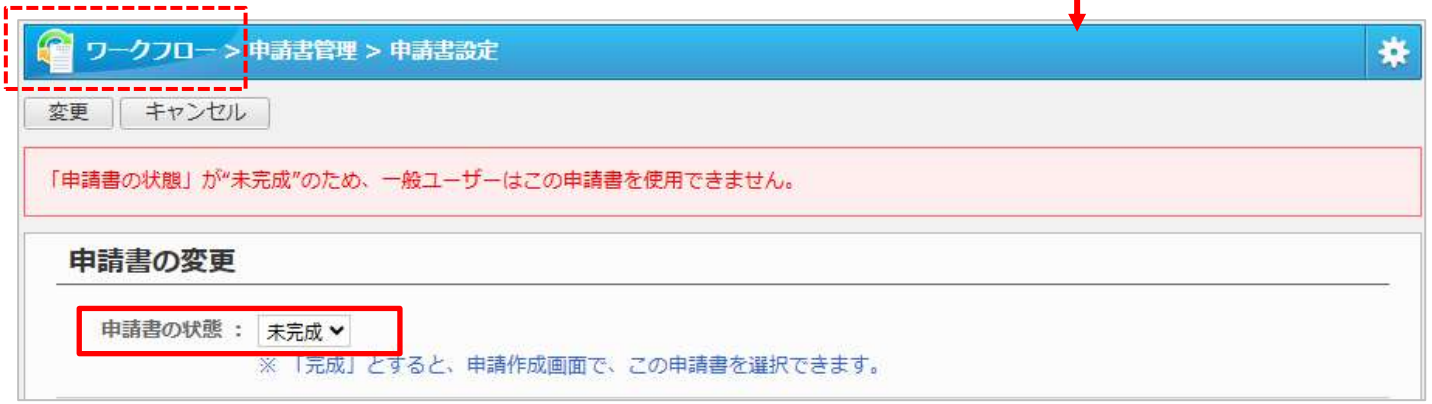
17 申請書アプリケーション②

AppSuiteで書式部分（申請入力画面）の作成が終了すると
申請書の詳細設定を行う画面に移動することができます。

通常のアプリケーションと同じく、詳細画面のレイアウトを作成すると
1番最初だけ申請書の設定を行うかどうかの確認画面が出てきます。
「はい」をクリックするとワークフロー機能の画面へ移行します。



ワークフローの申請書の設定を行います。
※申請書の状態が「未完成」のままだとアプリケーションのステータスに関係なく、
一般ユーザーは該当の申請書を使用することができません。
使用開始する場合は必ず、申請書の状態を「完成」にして下さい。



© NEOJAPAN Inc.

17 申請書アプリケーション③

アプリケーションの編集画面からワークフロー機能の申請書の設定画面へ簡単に移動することが可能です。

①申請書アプリケーションの編集画面では、右上に申請書設定を開くリンクが表示されます。

②クリックすると該当の申請書設定の画面が表示されます。

※ワークフロー機能の管理者ユーザーであれば、
ワークフロー機能右上[白い歯車アイコン]>
[申請書管理]>[申請書（表題・書式・経路）設定]から
同じ画面を確認できます。

③申請書式の連携先
リンクをクリックすると連携しているアプリ
（AppSuite）の編集ページへ移動します。

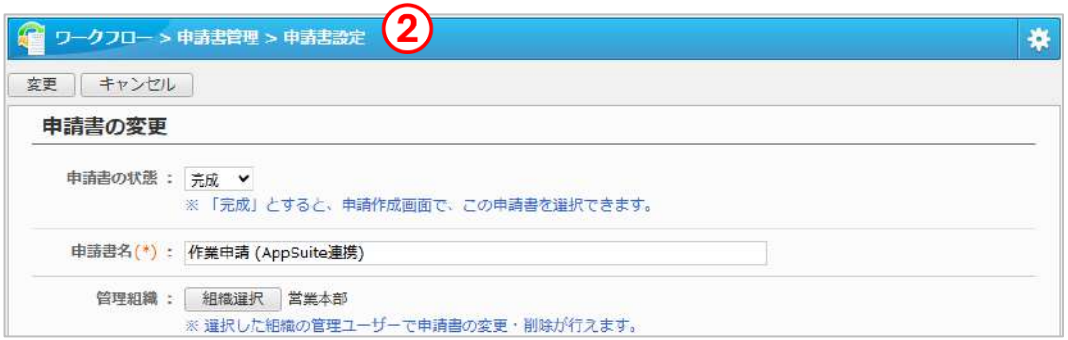
④ワークフローで申請を削除した際、AppSuiteアプリ側のデータも削除させる設定です。削除しない（アプリにデータを残す）場合はチェックを外します。

⑤画面デザイン編集のリンクをクリックすると、該当アプリの詳細画面の編集ページへ移動します。

※申請書設定の詳細につきましては
「desknet's NEO【管理者】かんたん操作マニュアル
ワークフロー」の共通設定をご確認ください。









© NEOJAPAN Inc.

18 アプリケーションの作成　-アプリケーションを複写して作成

AppSuiteに既に作成された他のアプリケーションを複写して同内容のアプリケーションを新規に作成します。

①複写するアプリケーション
複写するアプリケーションを選択してください。

②アプリケーション名
作成するアプリケーション名を入力してください。

入力完了後、作成ボタンを押下すると、同じアプリケーションが作成されます。



ポイント

アプリケーションを複写して作成する場合、以下情報・設定も複写し、引き継ぐことができます。

・インポート/エクスポート項目順
・インポート/エクスポート設定情報
・お気に入り
・通知情報
・アクセス権
・絞り込み条件の「ユーザー情報」「組織情報」

※「テンプレートから作成」メニューの場合は、上記は引き継がれません。

© NEOJAPAN Inc.

19 アプリケーションの作成　-テンプレートから作成

テンプレートからアプリケーションを作成します。

機能管理者が作成したテンプレート、もしくは、
自分が持っているテンプレートファイルからアプリケーション
を作成することができます。

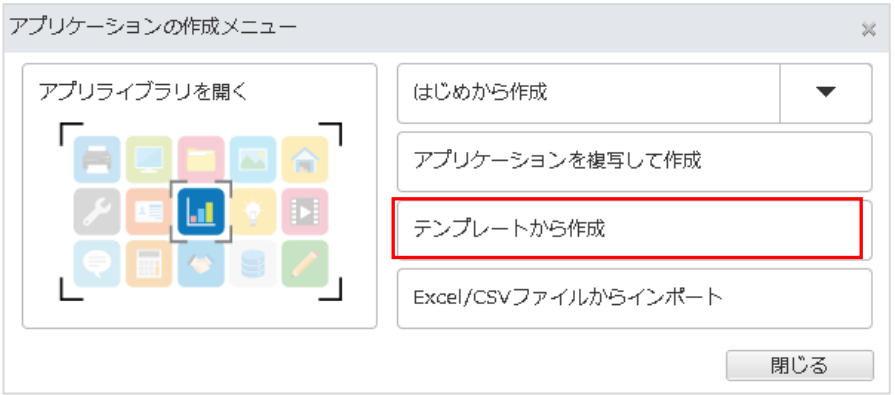
※弊社提供のテンプレートファイルをダウンロードし、こちら
のメニューから作成することも可能です。

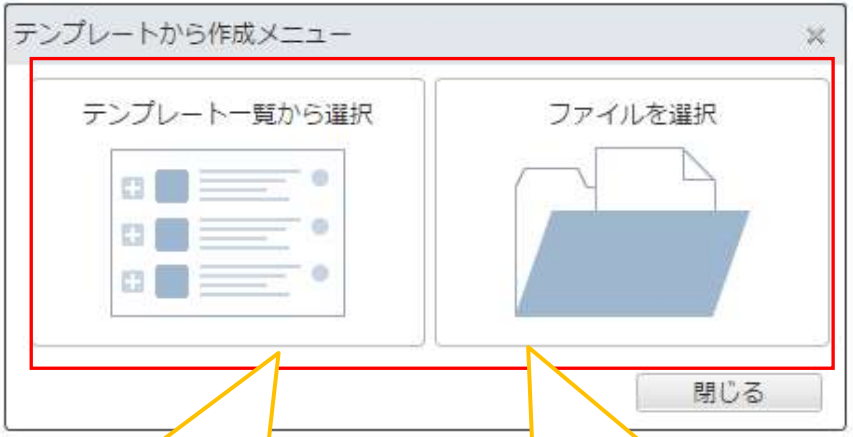
【テンプレートからの作成メニュー】

■テンプレート一覧から選択
管理者が作成した「テンプレート一覧」からアプリケーショ
ンを作成します。

テンプレート一覧から該当のテンプレートを選択すると自動
でアプリケーションを作成します。

■ファイルを選択
テンプレートファイルをお持ちであれば、ファイルを選択し
てインポートを実行するだけで、同内容のアプリケーション
を自動作成します。
※zip形式のファイルのままインポートしてください。





管理者によって既に登録された
テンプレートを使用する場合

自分で持っているテンプレート
を使用する場合

© NEOJAPAN Inc.

20 アプリケーションの作成　-Excel/CSVファイルからインポート①

お持ちのExcel/CSVファイルからアプリケーションを作成します。





■**インポートファイル**
インポートするExcel/ CSVファイルを選択してください。

■**インポートファイルの詳細**
リンクをクリックすると、インポートファイルの説明文が表示されます。
部品の詳細な指定内容をご確認いただけます。

■**アプリケーション名**
作成するアプリケーション名を入力します。

必要事項の設定が完了したら、画面右下の[次へ]ボタンを押下し、部品の設定画面へ進みます。

© NEOJAPAN Inc.

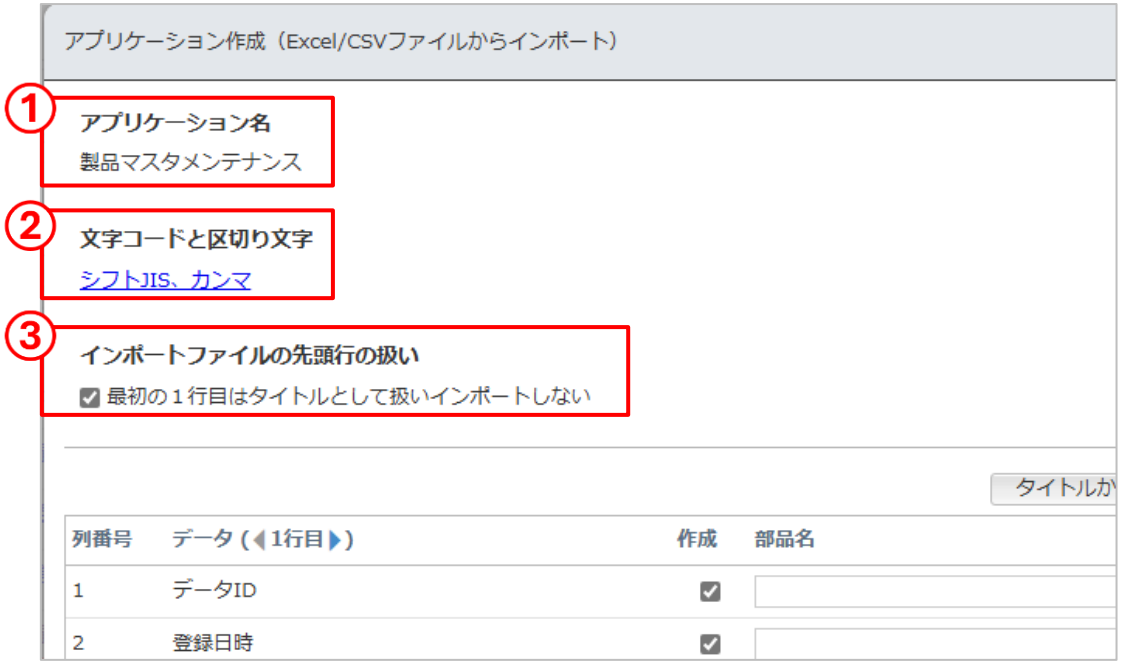
20 アプリケーションの作成　-Excel/CSVファイルからインポート②

該当のExcel/CSVファイルをどのようにアプリケーションに反映させて作成するかを設定します。

①作成するアプリケーション名が表示されます。

②CSVファイルの場合、インポートする際の文字コードと区切り文字を選択できます。
Excelワークシートの場合、シートとインポート範囲を選択できます。
リンクを押すと、設定変更が可能です。





③インポートファイルの先頭行を無視するか設定します。

© NEOJAPAN Inc.

20 アプリケーションの作成　-Excel/CSVファイルからインポート③

該当のExcel/CSVファイルをどのようにアプリケーションに反映させて作成するかを設定します。

④インポートファイルの1行目の各項目名をアプリケーションの部品名(⑧)として反映します。

⑤部品名(⑧)とタイプ(⑨)をクリアします。

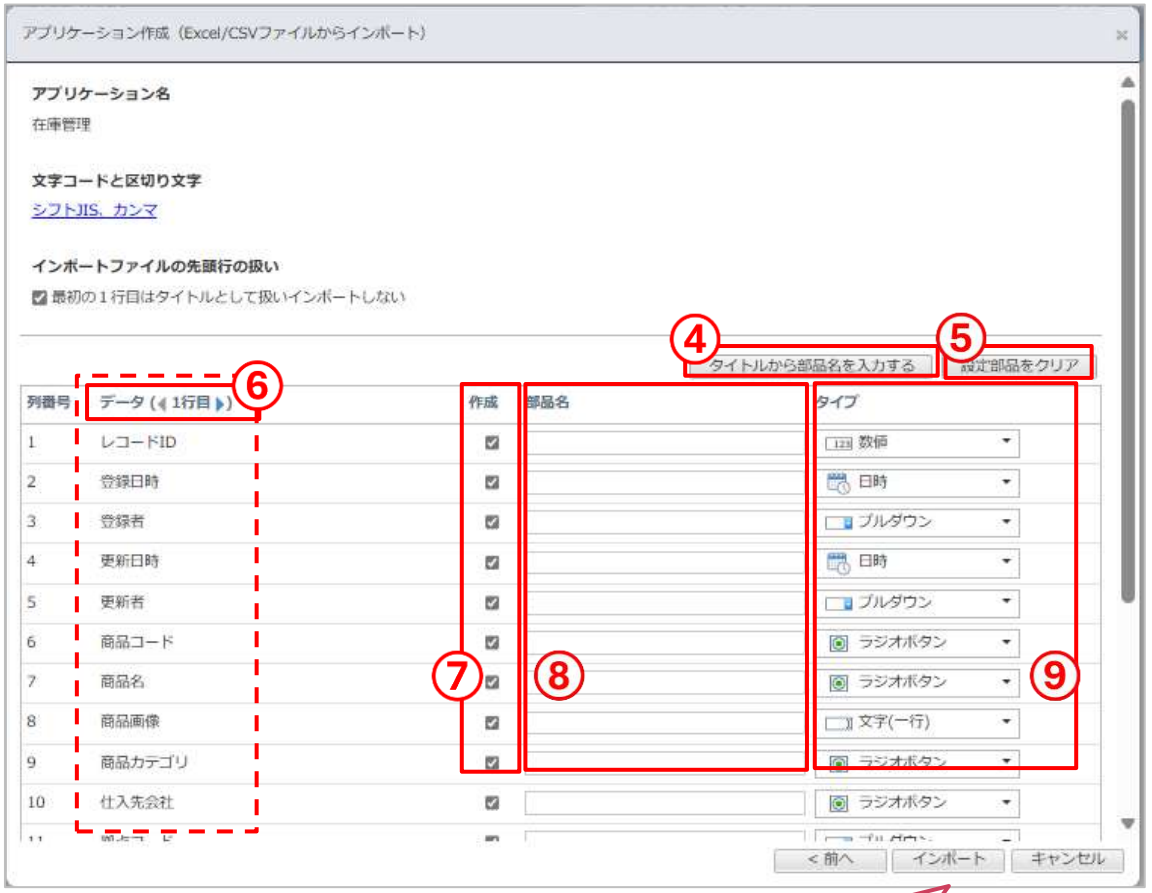
⑥Excel/CSVファイルのデータが表示されます。
左右の矢印で前後のデータ（行）に移動します。

⑦アプリに作成したい部品にチェックを付けます。
チェックされていない項目は部品は作成されません。

⑧部品名を入力および編集します。

※同一の部品名は同一のアプリケーション内で重複できません。既に存在する名称を設定した場合は警告画面が表示され、インポートは中止されます。

⑨部品のタイプを選択します。



[インポート]ボタンの押下でインポートを開始します。
アプリ作成と、データ取り込みが行なわれます。

⚠ 注意事項

※インポートで作成できる部品タイプは限りがあります。
自動計算等を作成したい場合は、インポート後にアプリケーションの編集で、別途部品の修正を行ってください。

※「インポートから作成」では申請書アプリケーションを作成することはできません。

© NEOJAPAN Inc.

AppSuite

アプリケーションの作成は以上となります。
お疲れ様でした。

【お問合せ窓口】

クラウド版をご利用の場合

TEL：0120-365-800（フリーダイヤル）

通常窓口：平日9時-17時半 (※土日祝日を除く)

時間外障害受付窓口：
・当社営業日（平日夜間）　：17:30～翌9:00
・土日祝日及び当社休業日　：終日
【受付内容】
ご契約中のクラウドサービスが障害により
ご利用になれない際のお問合せ窓口となります。

※クラウド版サポートサイトにご登録済みのお客様が対象です。
※詳細は**クラウド版サポートサイト**
（https://csite.desknets.com/）内でご案内しています。
※クラウド版サポートサイトへのログインが必要です。

<メール問合せ窓口>
https://faq.desknets.com/neo/contact-cloud

パッケージ版（オンプレミス）をご利用の場合

TEL：0800-500-6330（フリーダイヤル）

受付時間：平日9時-12時 / 13時-17時半
(※土日祝日を除く)

機能・操作方法に関するお問合せ窓口となります。
※お問合せ内容により、担当部署から改めてのご回答となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

<メール問合せ窓口>
https://faq.desknets.com/neo/contact-package

※年間サポートご購入者さま専用のサポート窓口です。
機能や操作についてのご質問のほか、技術的なお問合せにも対応いたします。

NEOJAPAN

© NEOJAPAN Inc.